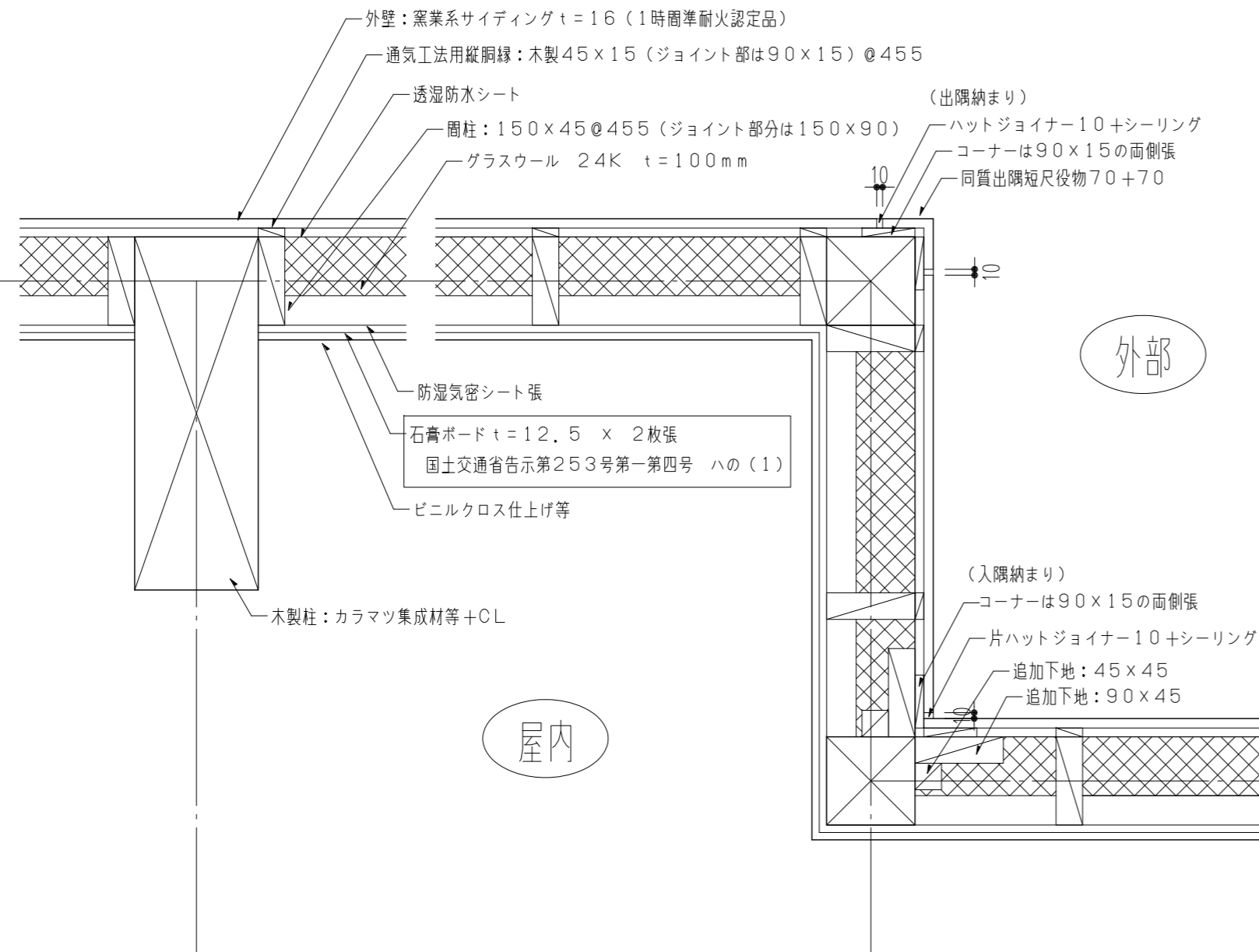


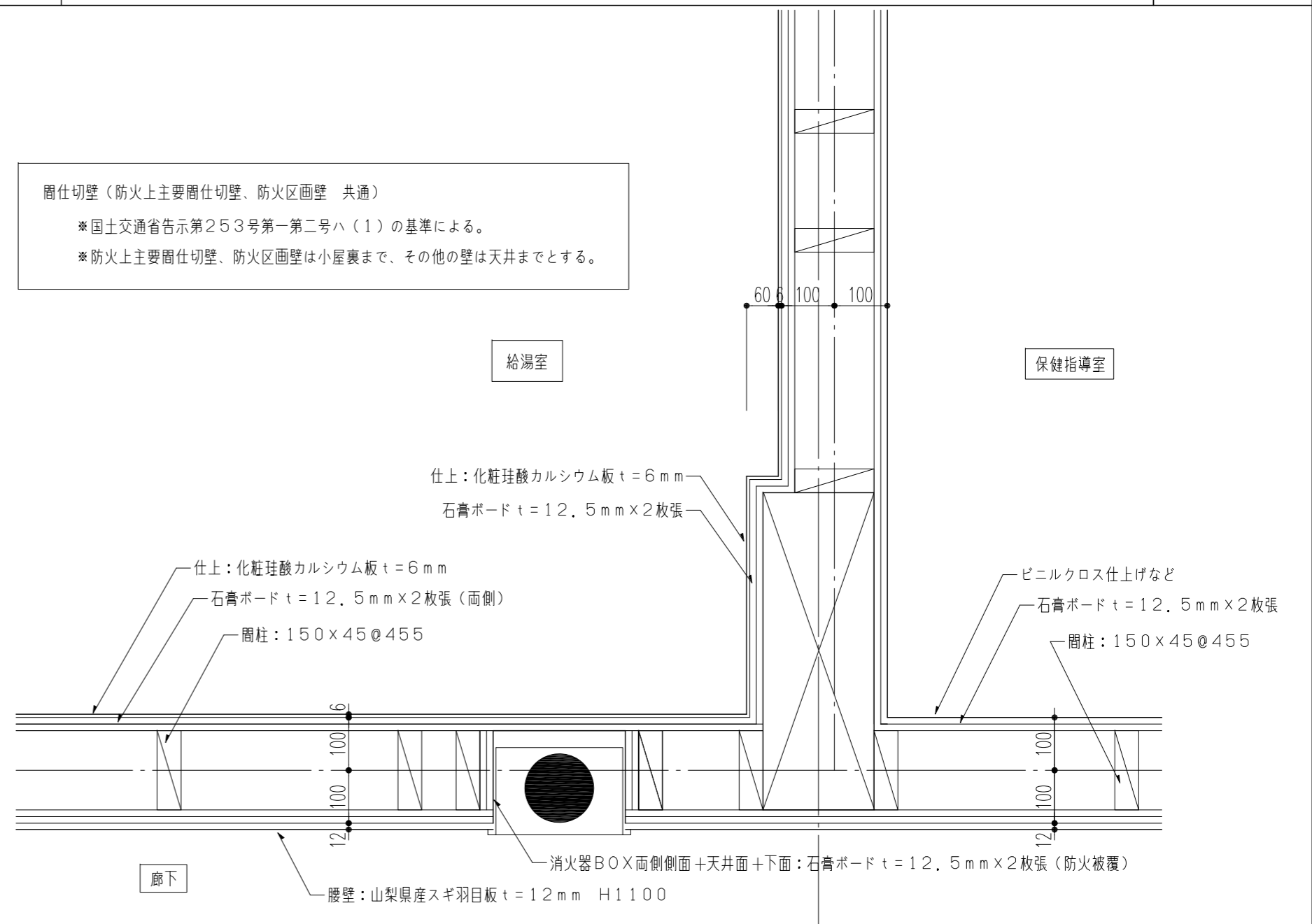
D-07 外壁面（+外壁に面する屋内壁） 詳細図

1 : 10



D-08 間仕切壁面 詳細図

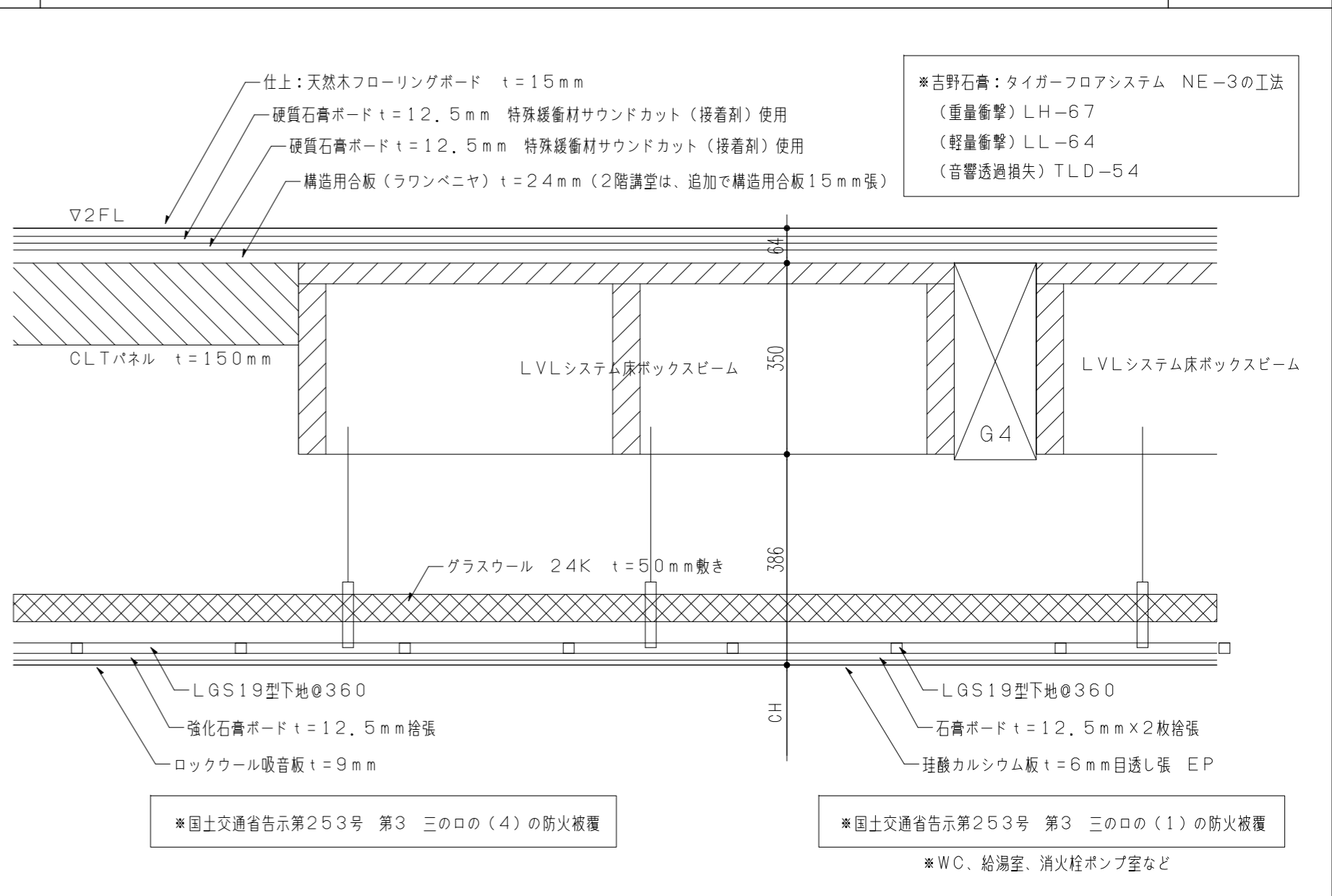
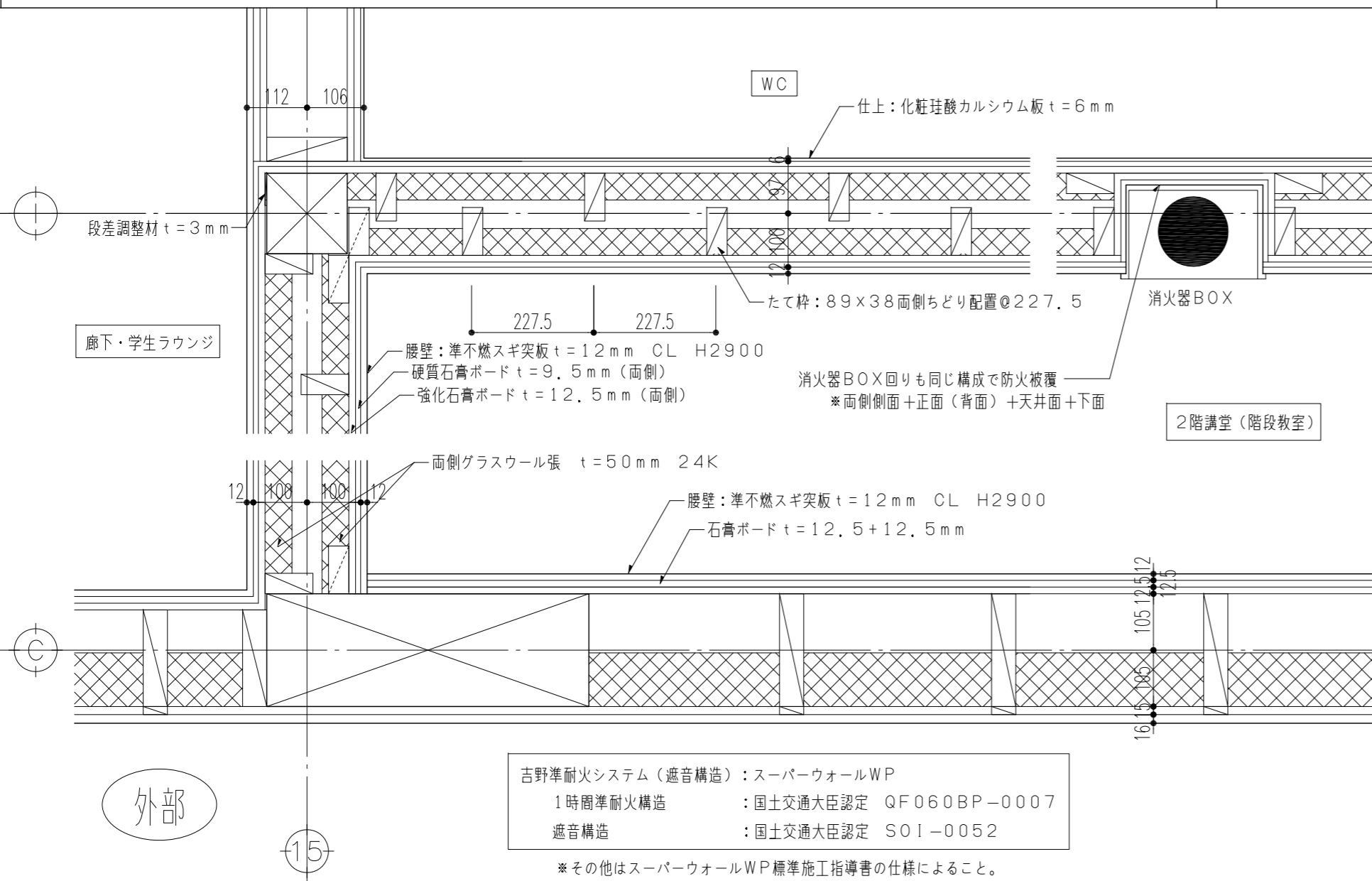
1 : 10



D-09 遮音間仕切壁（講堂廻り） 詳細図

D-10 遮音仕様2階床、及び直下の1階天井 詳細図

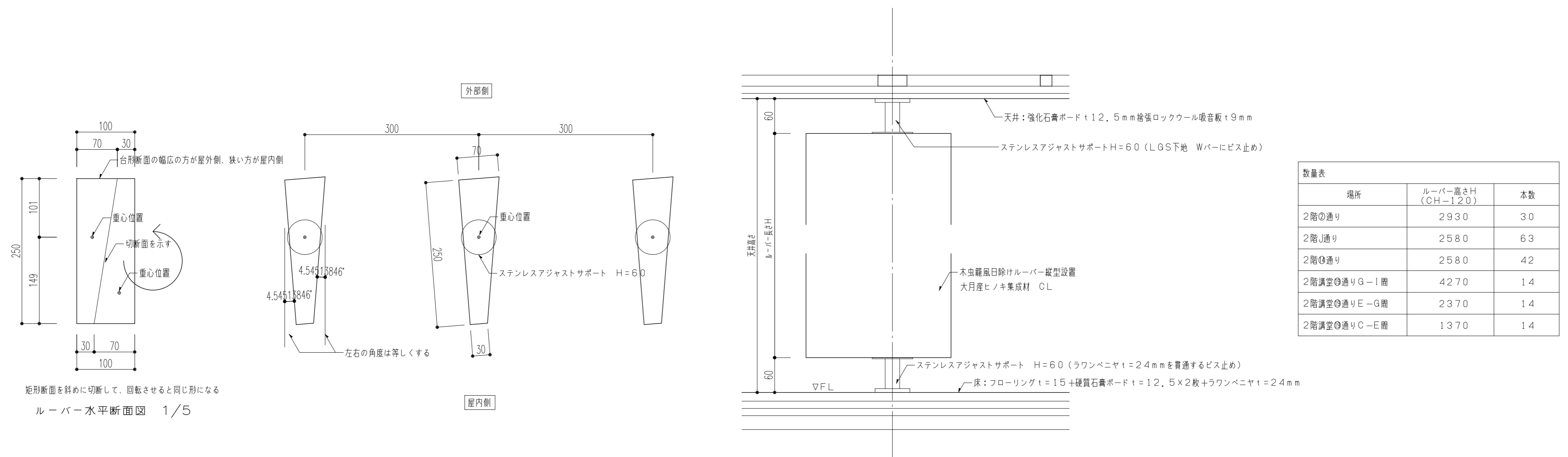
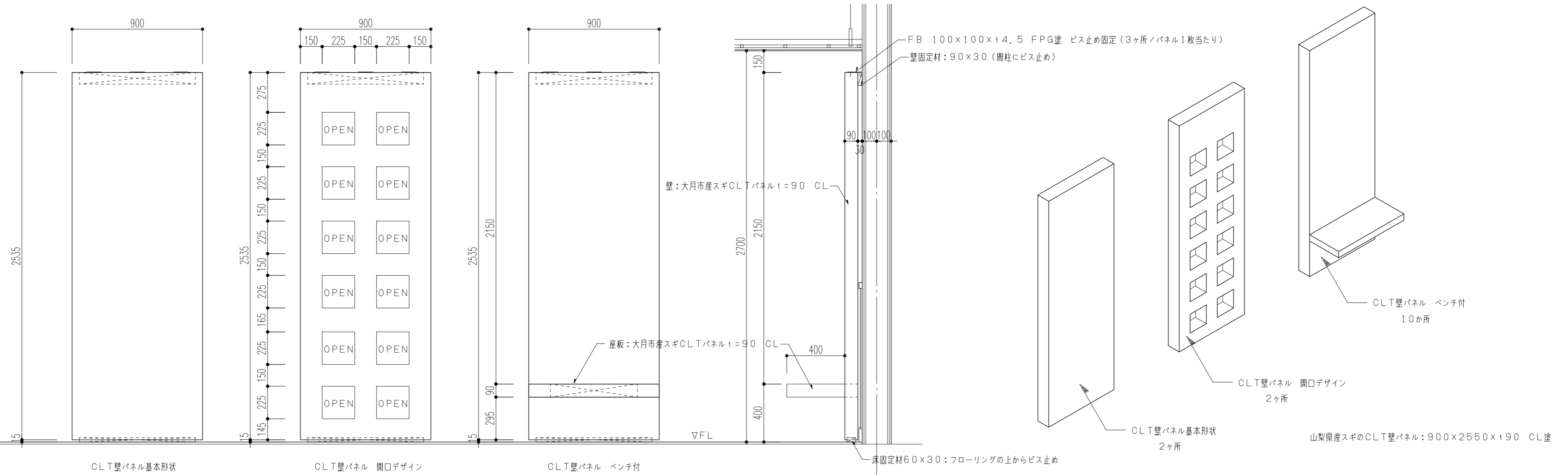
1 : 10

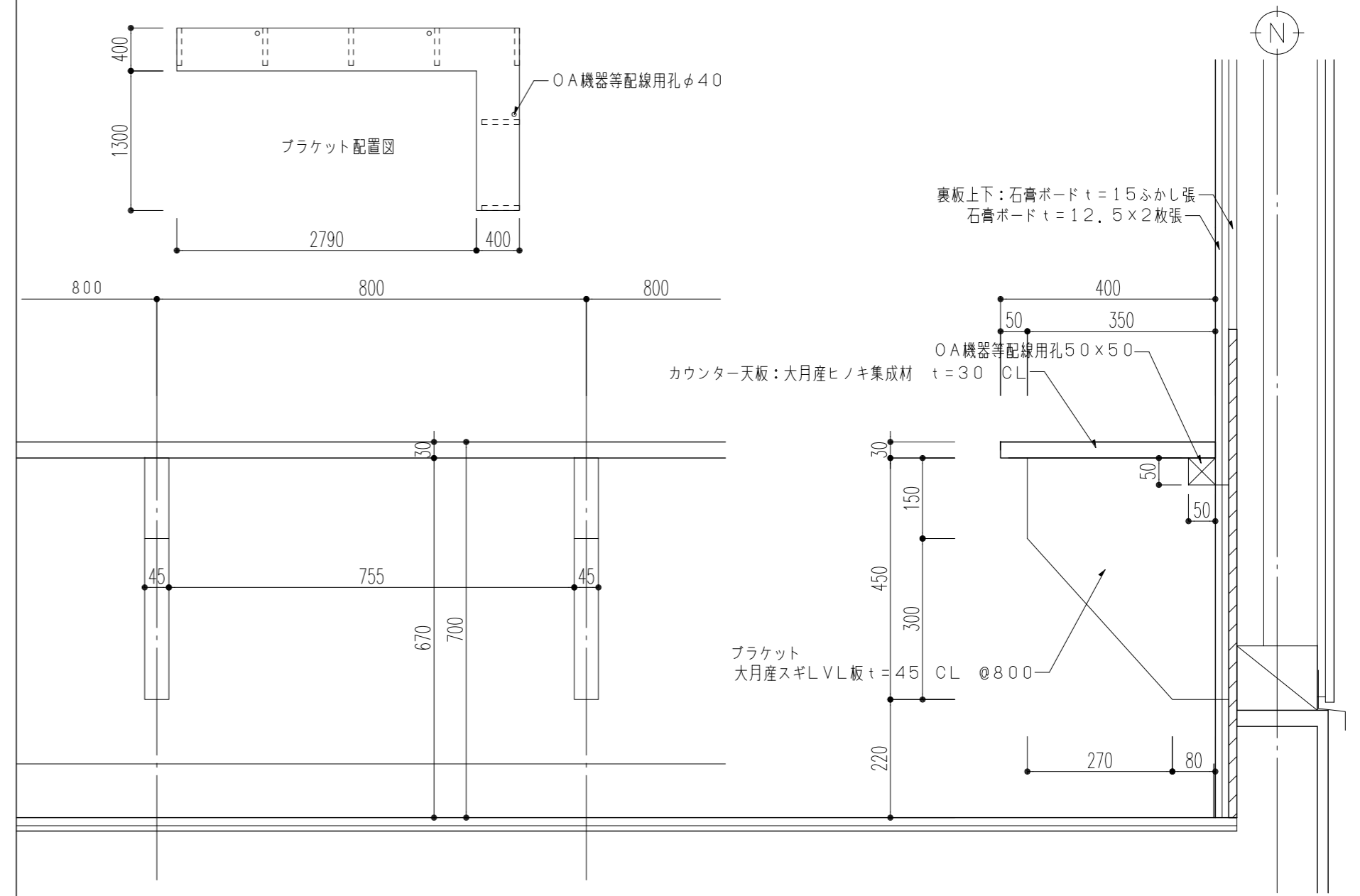
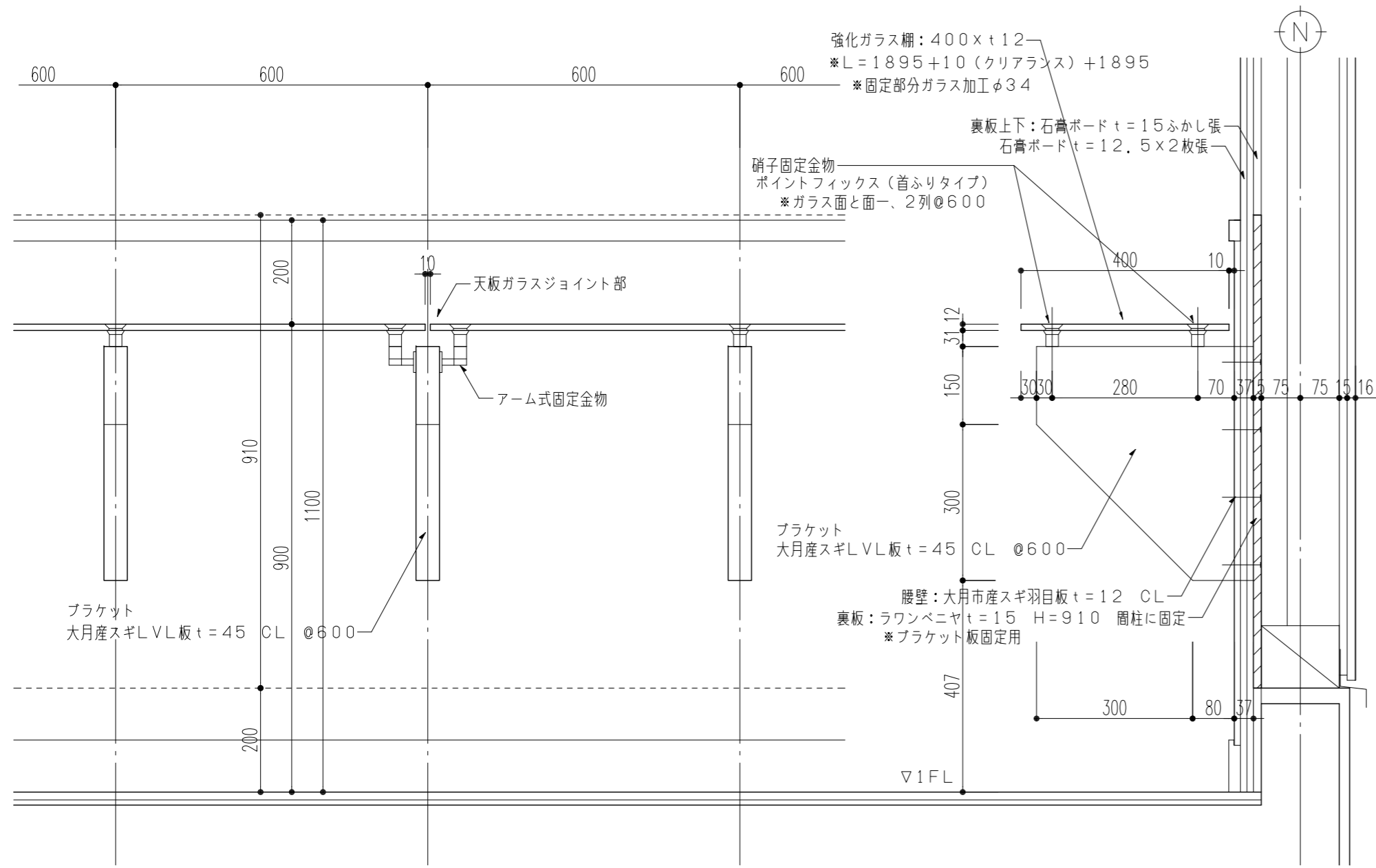


**総合建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
 一級建築士 登録 第110879号 小林

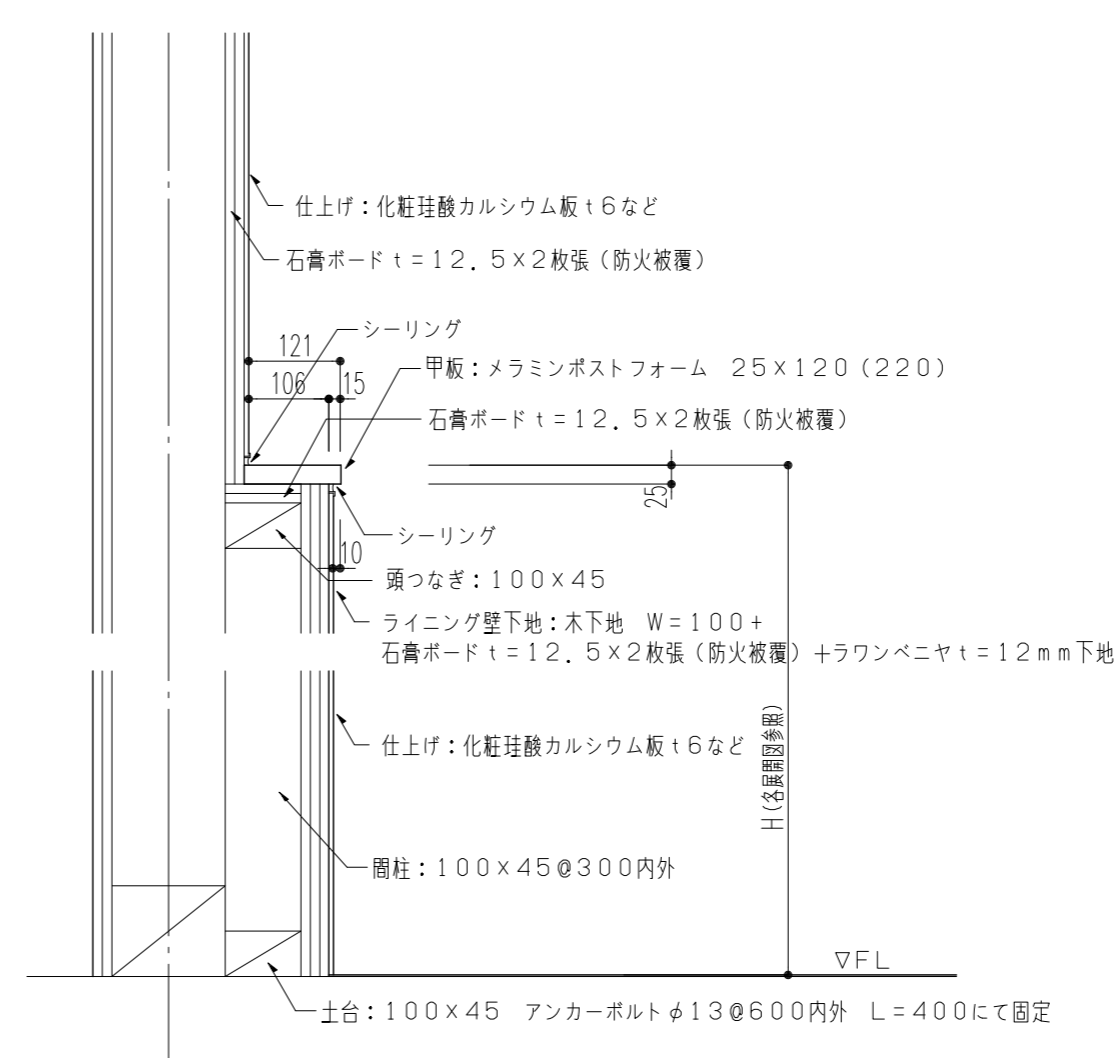
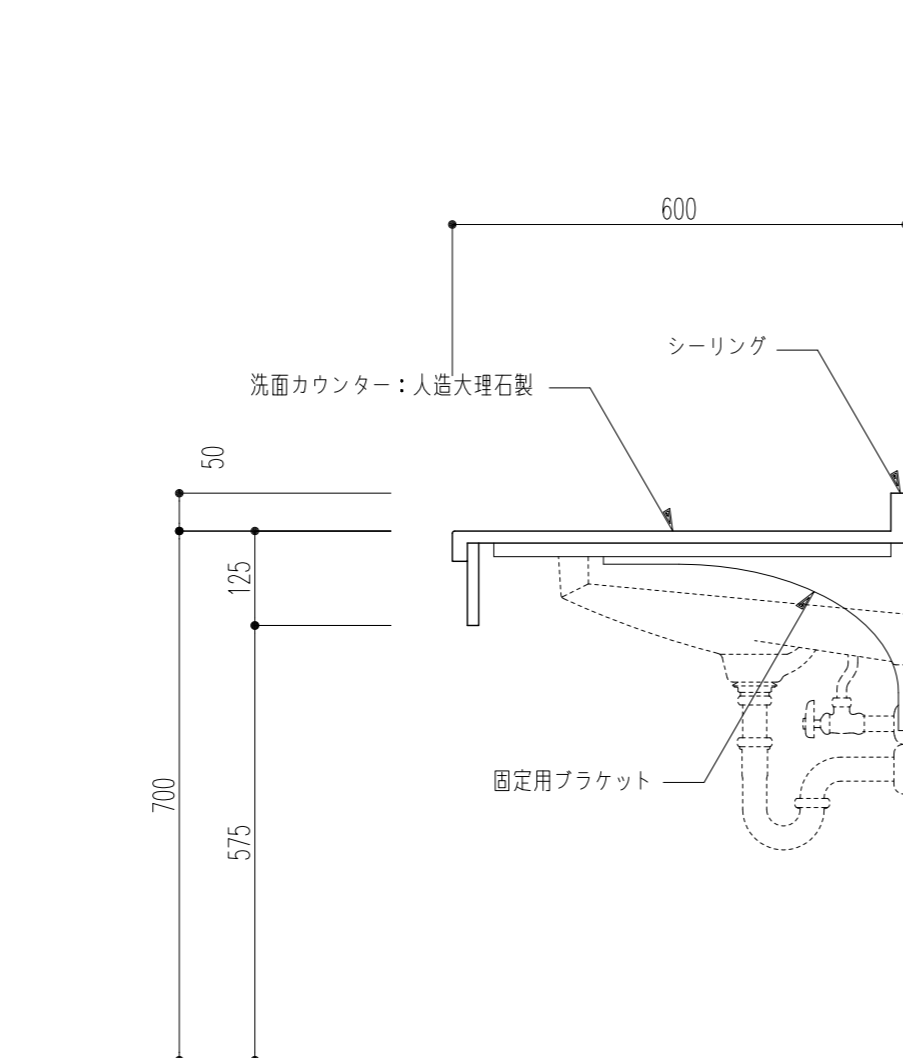
承認	設計	担当	縮尺 A2:1/10, A4:1/20	工事名称 大月短期大学新校舎建設工事
			設計年月日 00.00.00	図面名称 内部雑詳細図(1)

D-76  
No,





室名	長さ、開口部数
1階 WC (L)	L=2188、洗面器開口=3セット
1階 WC (M)	L=2188、洗面器開口=3セット
2階 WC (L)	L=2881、洗面器開口=4セット
2階 WC (M)	L=2408、洗面器開口=3セット



室名	高さ	長さ	側面仕上の有無		
			左	右	
1階 カウンセリング室	900	700	○	×	
1階 給湯室	1100	3300	○	×	水切り
	1100	750	×	○	水切り
1階 保健指導室	1200	2100	○	×	
	900	700	○	○	
	1100	900	○	○	水切り
1階 WC (M)	1200	815	×	×	
	1200	4388	×	×	
	700	W220 1440	×	×	
1階 WC (L)	1200	735	×	×	
	700	W220 1440	×	×	
	700	W220 1440	×	×	
2階 多目的WC	1200	W270 1100	○	×	
	1800	W170 1950	×	○	
2階 WC (M)	1200	688	×	×	
	1200	5188	×	×	
2階 WC (L)	1200	688	○	×	

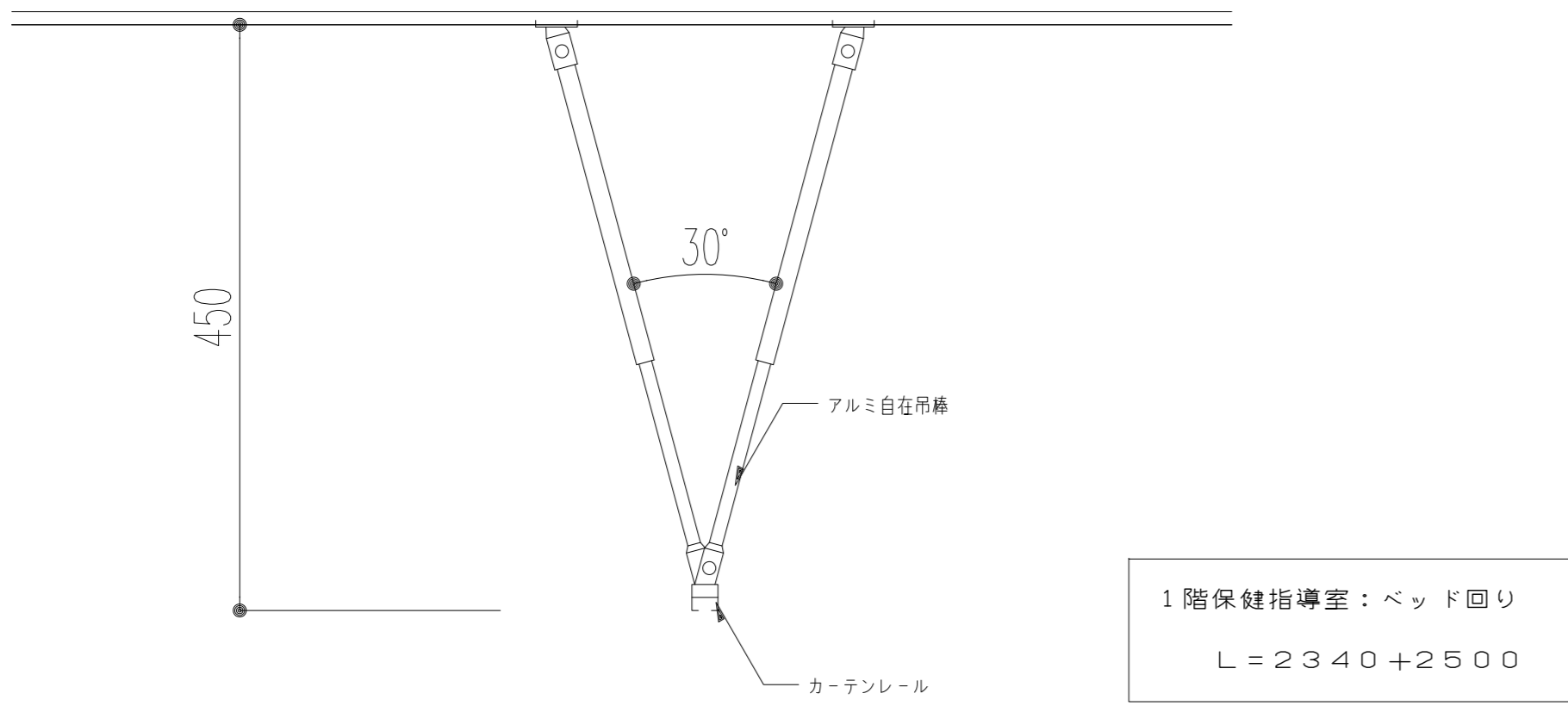
\* 1階の多目的WCは車いす用トイレバック (機械設備工事) に含まれる。  
\* 給湯室及び保健指導室ミニキッチン甲板は、ステンレス水切りとする。



総合建築設計事務所  
一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

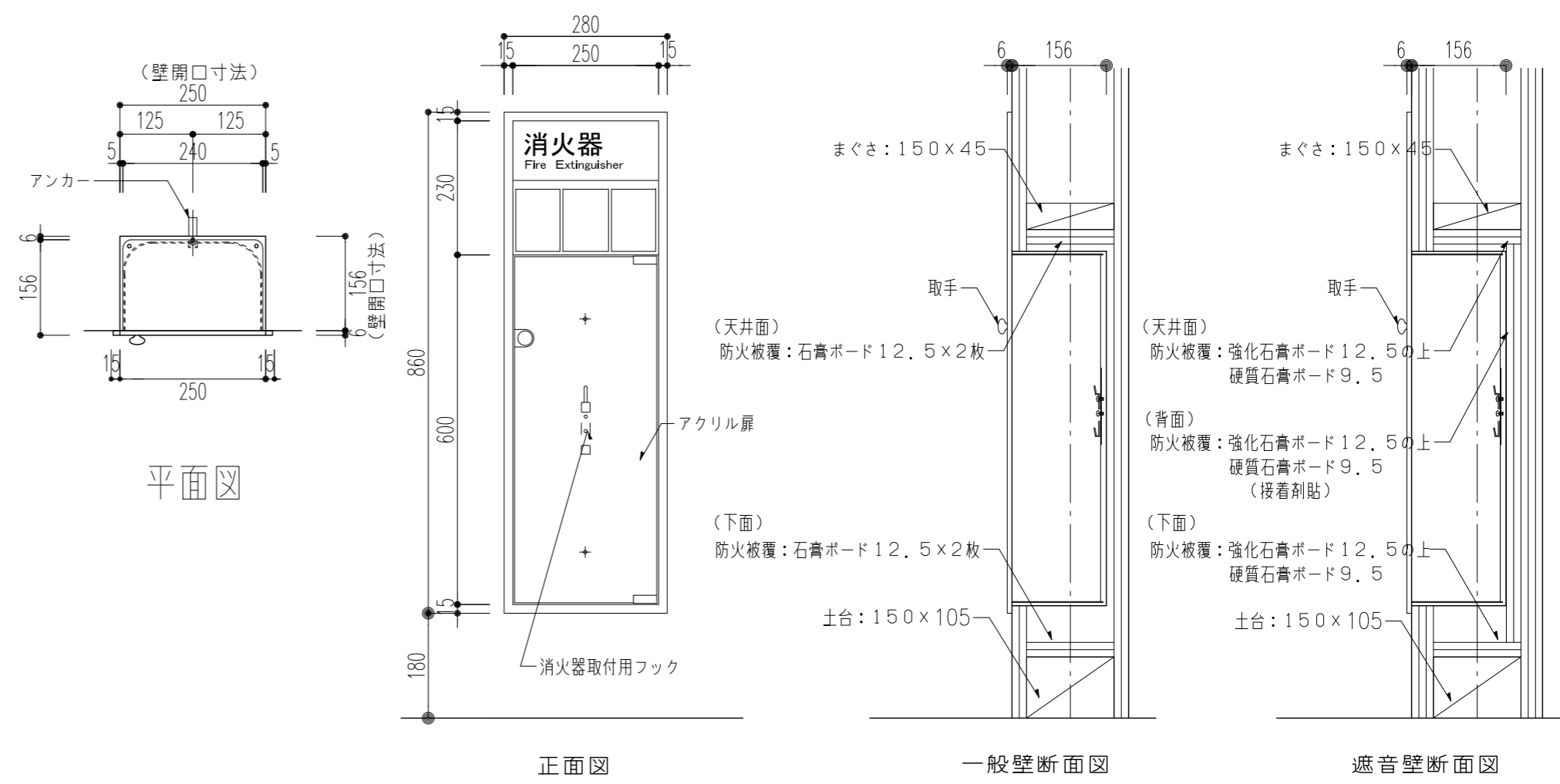
承認 設計 担当  
縮尺 A2:1/10, A4:1/20  
設計年月日 00.00.00

工事名称 大月短期大学新校舎建設工事  
図面名称 内部雑詳細図 (3)

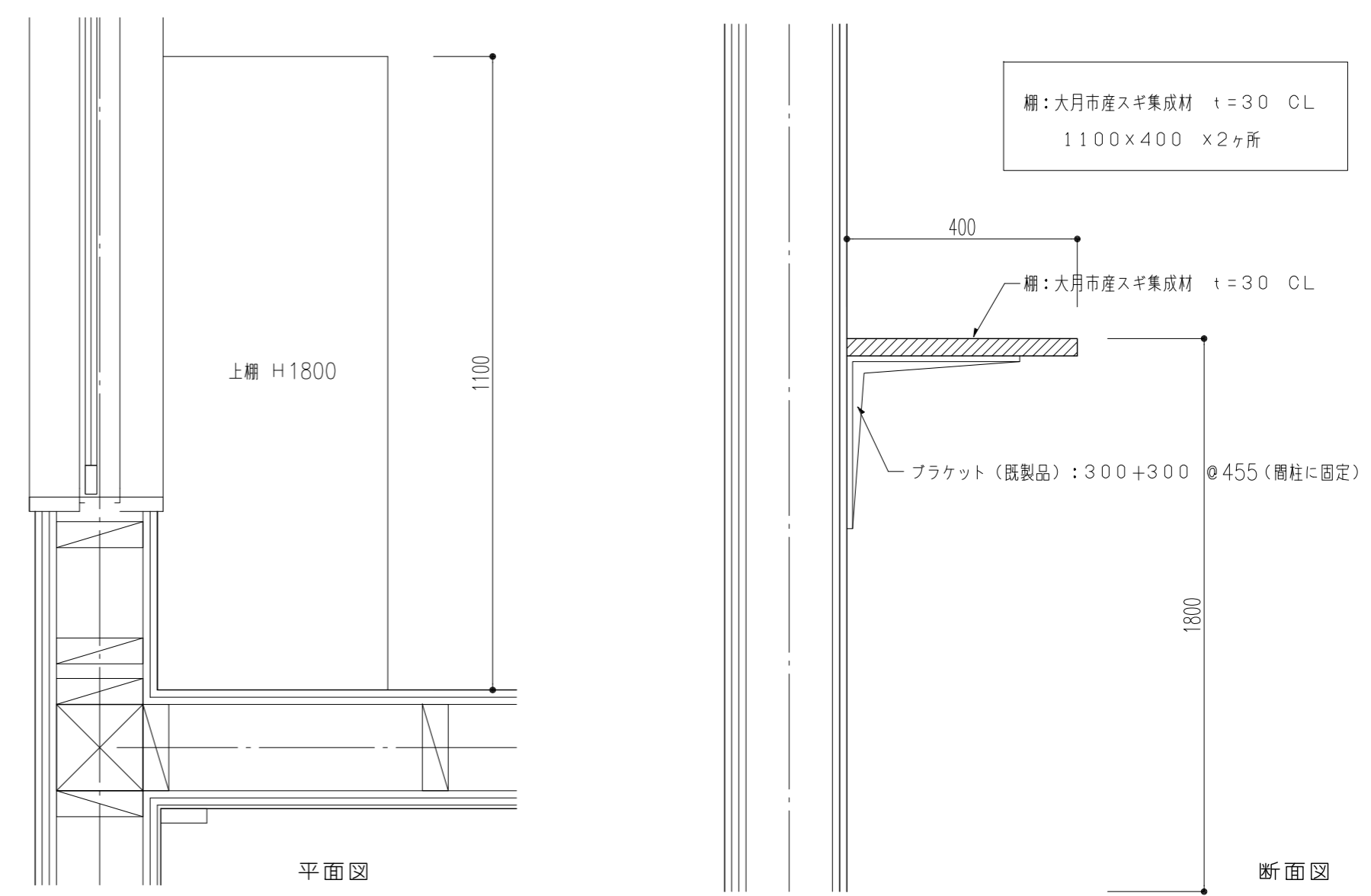
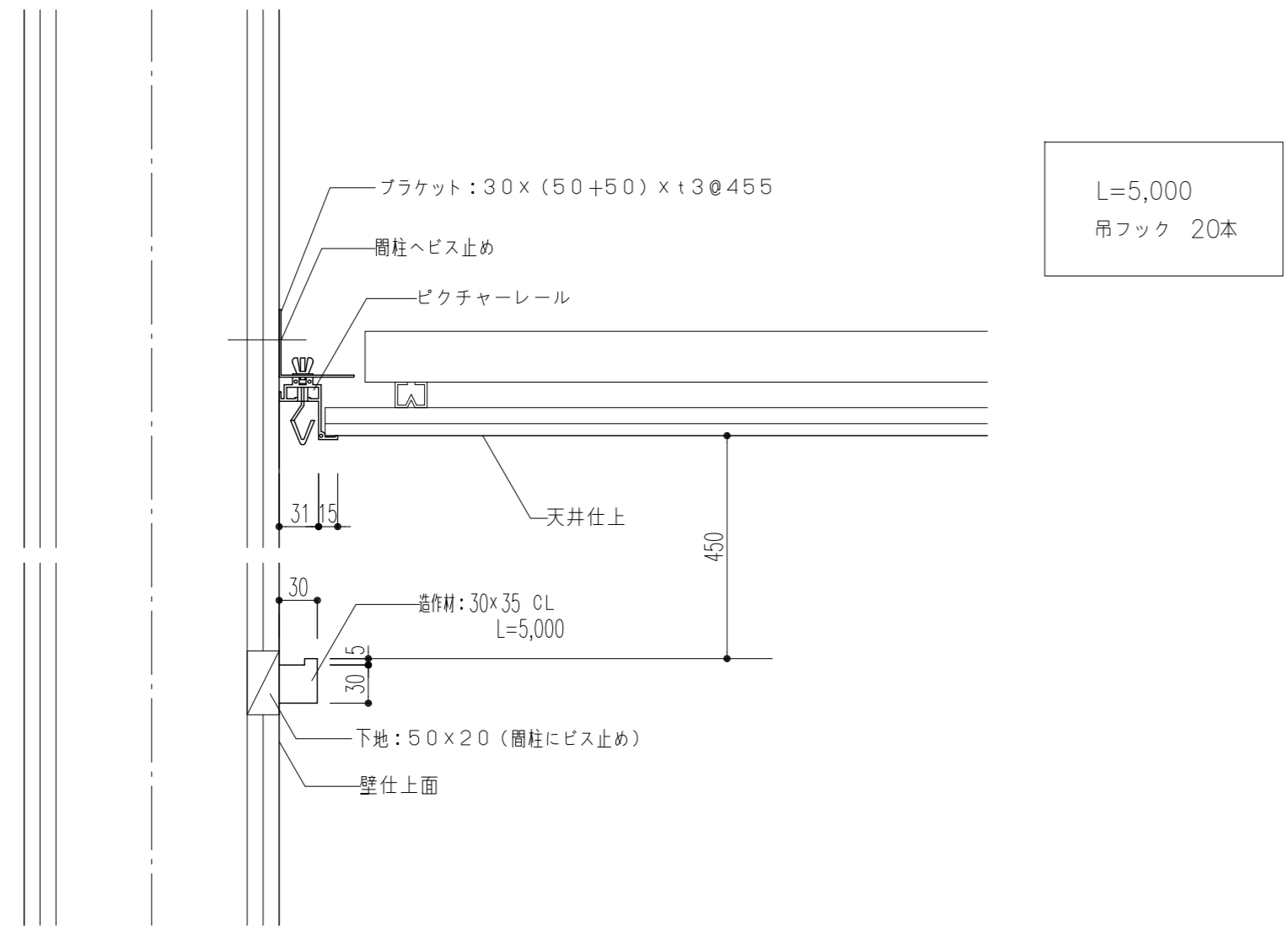


\*仕切りカーテンは別途工事。

※ABC粉末10型消火器含む(1本/各カ所)

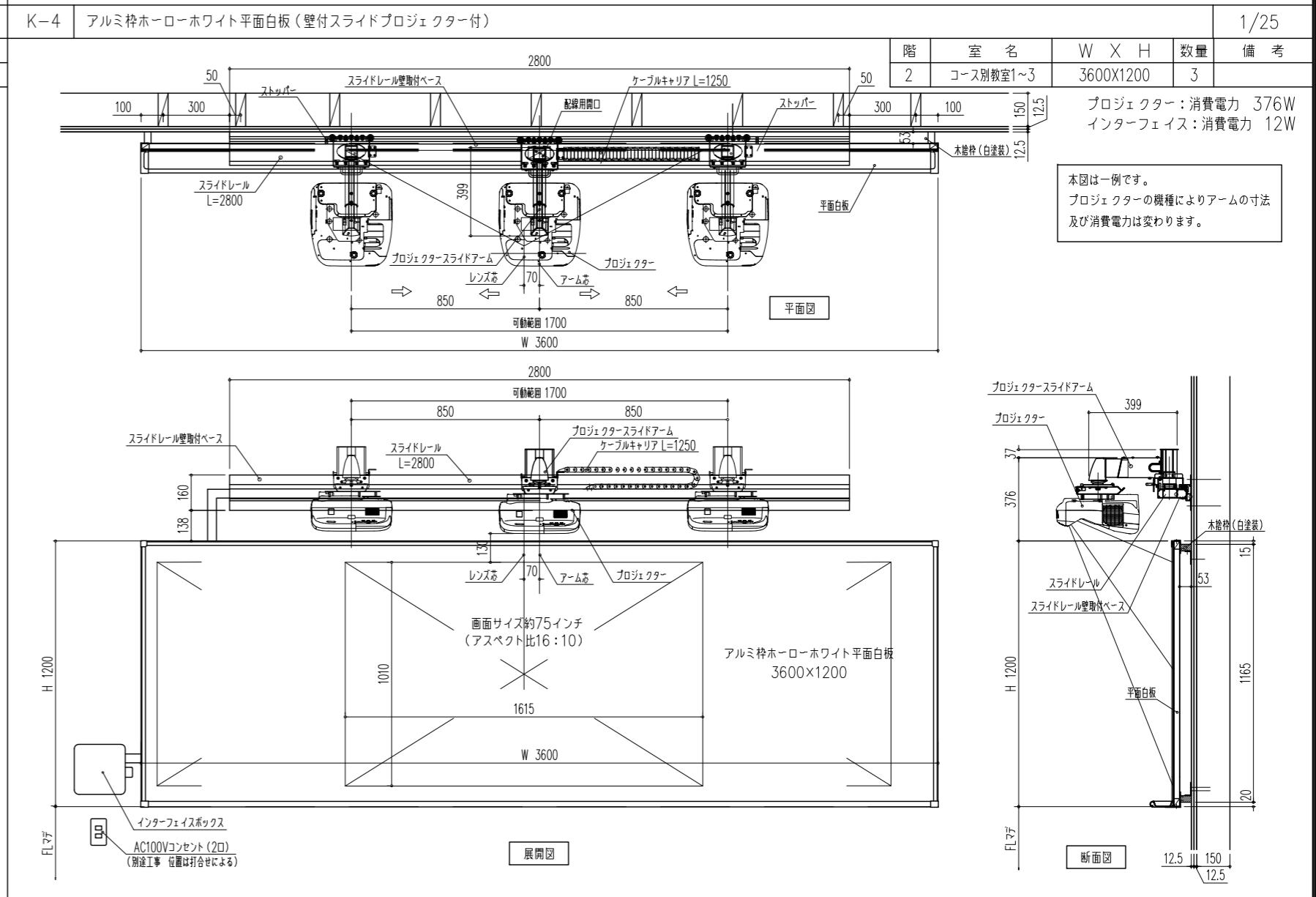
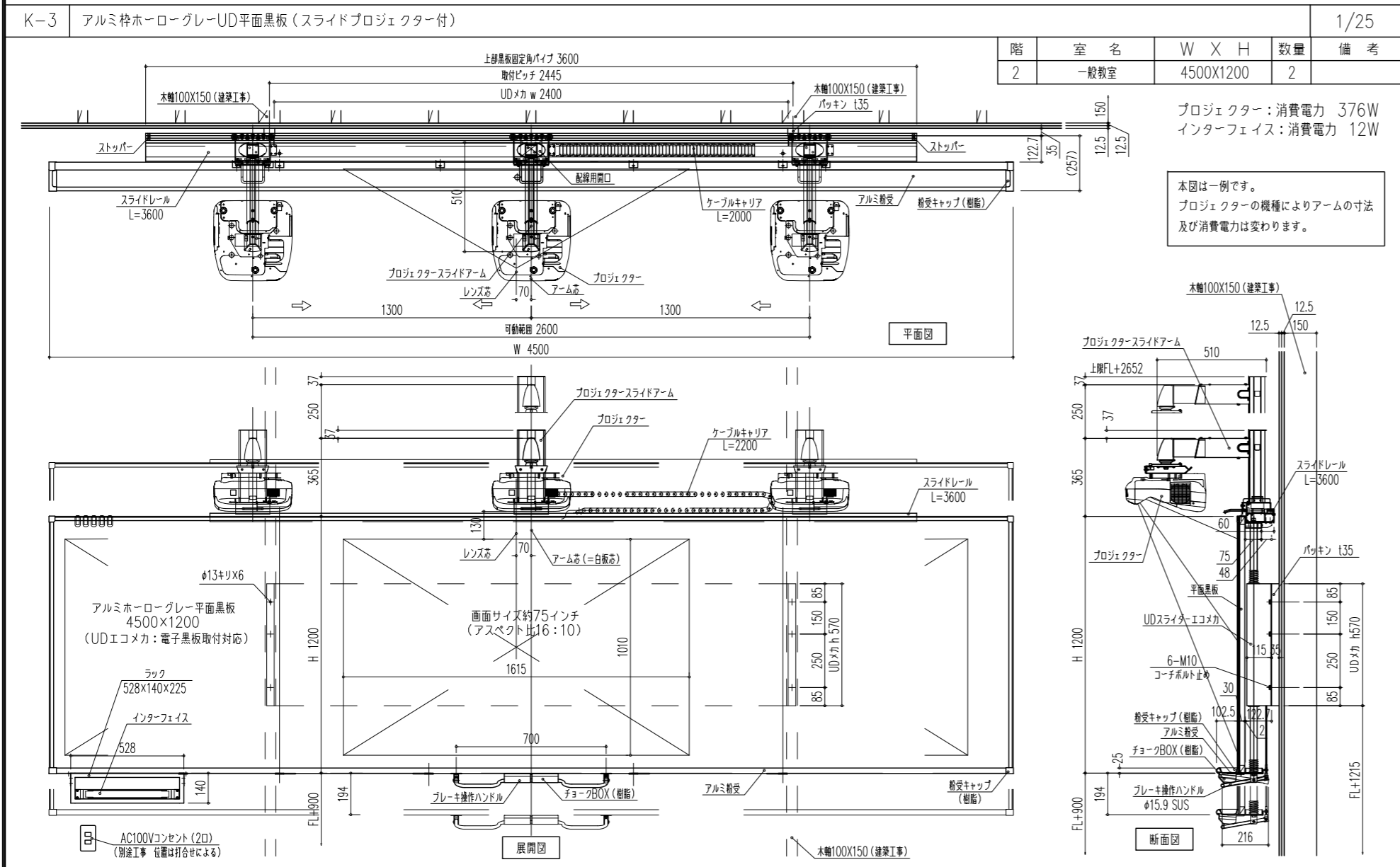
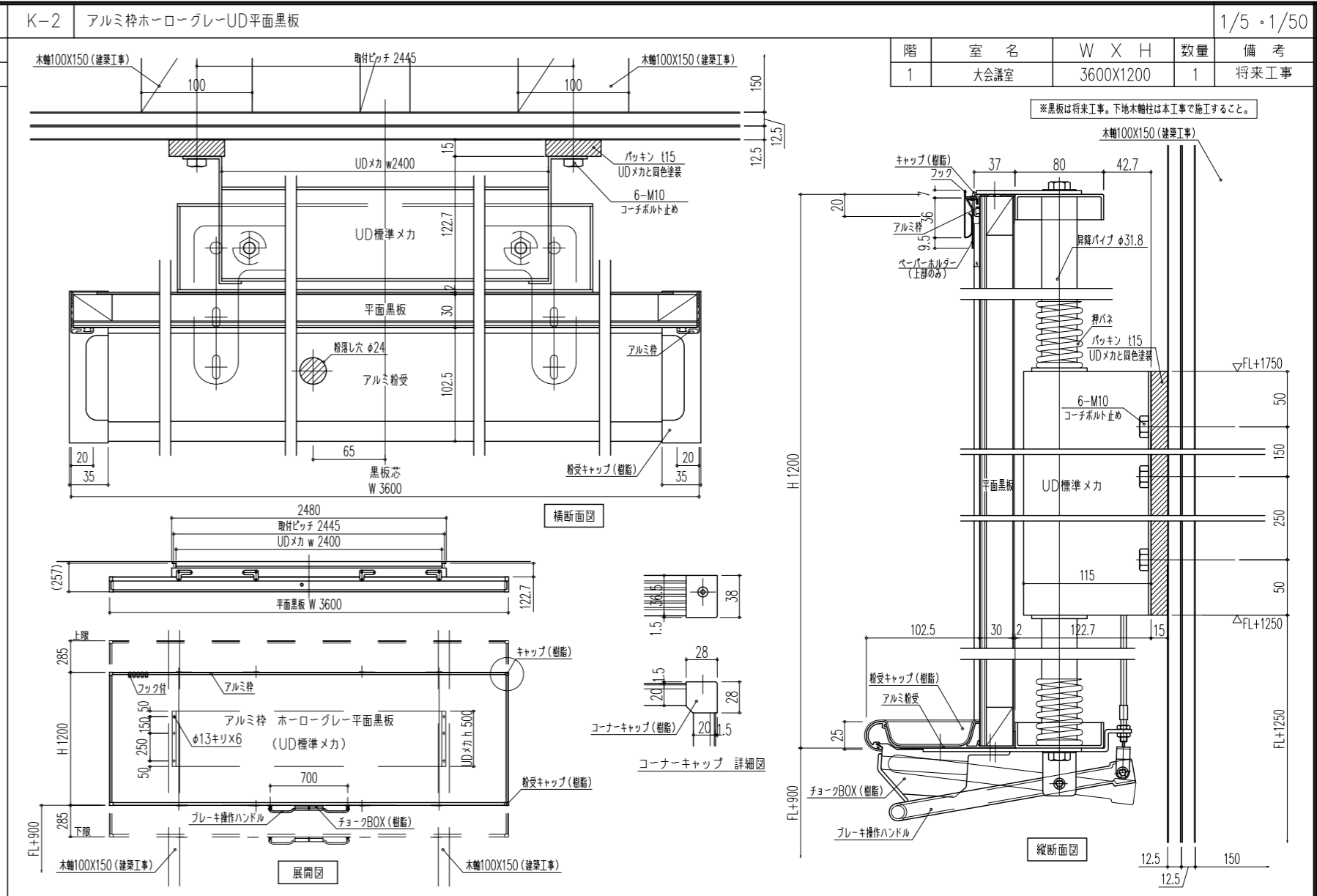
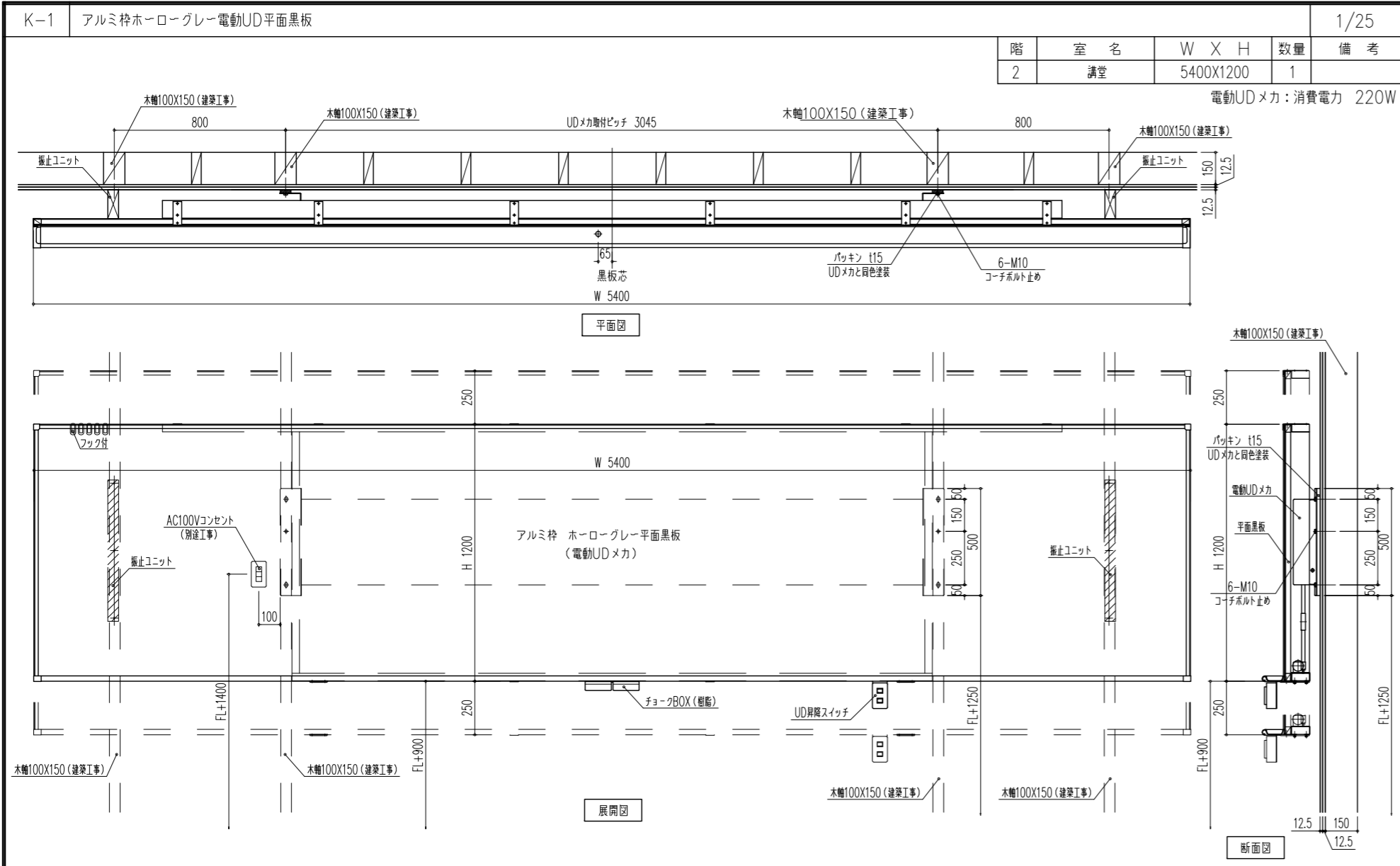


\*屋内消火栓設置は機械設備工事だが、内部に設置する消火器は建築主体工事とする。1本/1ヶ所あたり。









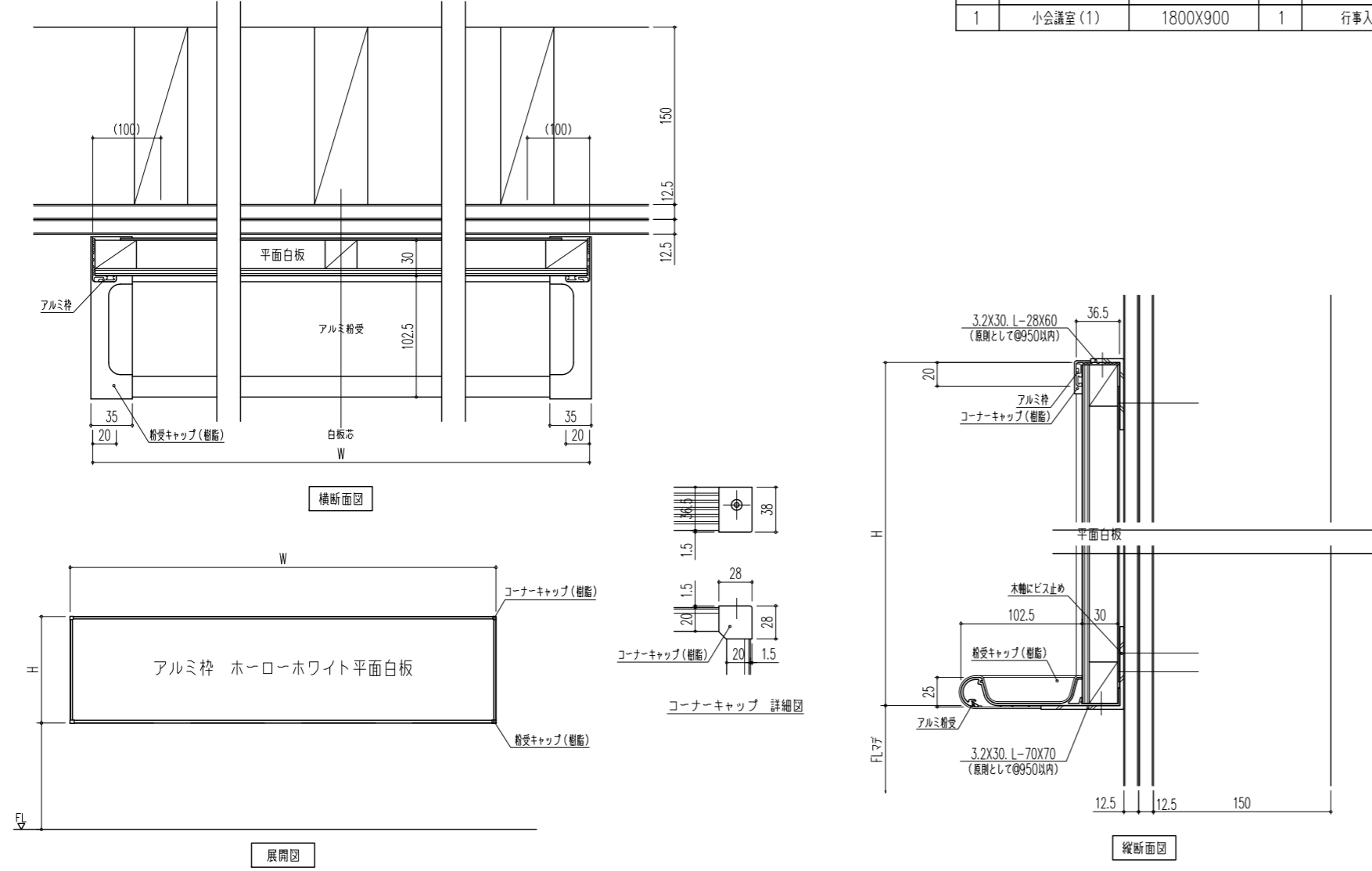
\* プロジェクターは、エプソン製EB-590WT同等品とする（黒板工事）。

\* K-3のインターフェイスは、アオイのマルチメディアインターフェイスユニット同等品で、①主電源スイッチ、②エコビュライト電源スイッチ、③主電源連動出力コンセント、④アナログRGB入力端子、⑤コンボジット映像信号入力端子、⑥オーディオ信号入力端子、⑦HDMI入力端子、⑧USB入力端子、⑨低音調整つまみ、⑩高音調整つまみ、⑪音量つまみ。

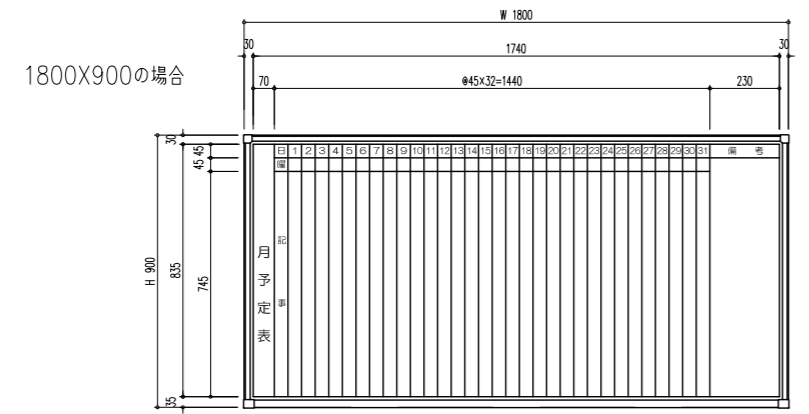
\* K-4のインターフェイスは、エプソンのインターフェイスボックスELPCB02同等品で、①主電源スイッチ、②AVミュート、③AUXミュート、④音声ダイヤル、⑤入力モード切替（5種類）、⑥入力：映像=HDMI、USBなど、音声=ステレオミニ、RCA、マイクなど、⑦出力：映像=身、RCA、S-ビデオ、HDMI、USBなど、出力=ステレオミニなど。

K-5 アルミ枠ホローホワイト平面白板 1/5・1/50

階	室名	W X H	数量	備考
1	小会議室(1)	1800X900	1	行事入

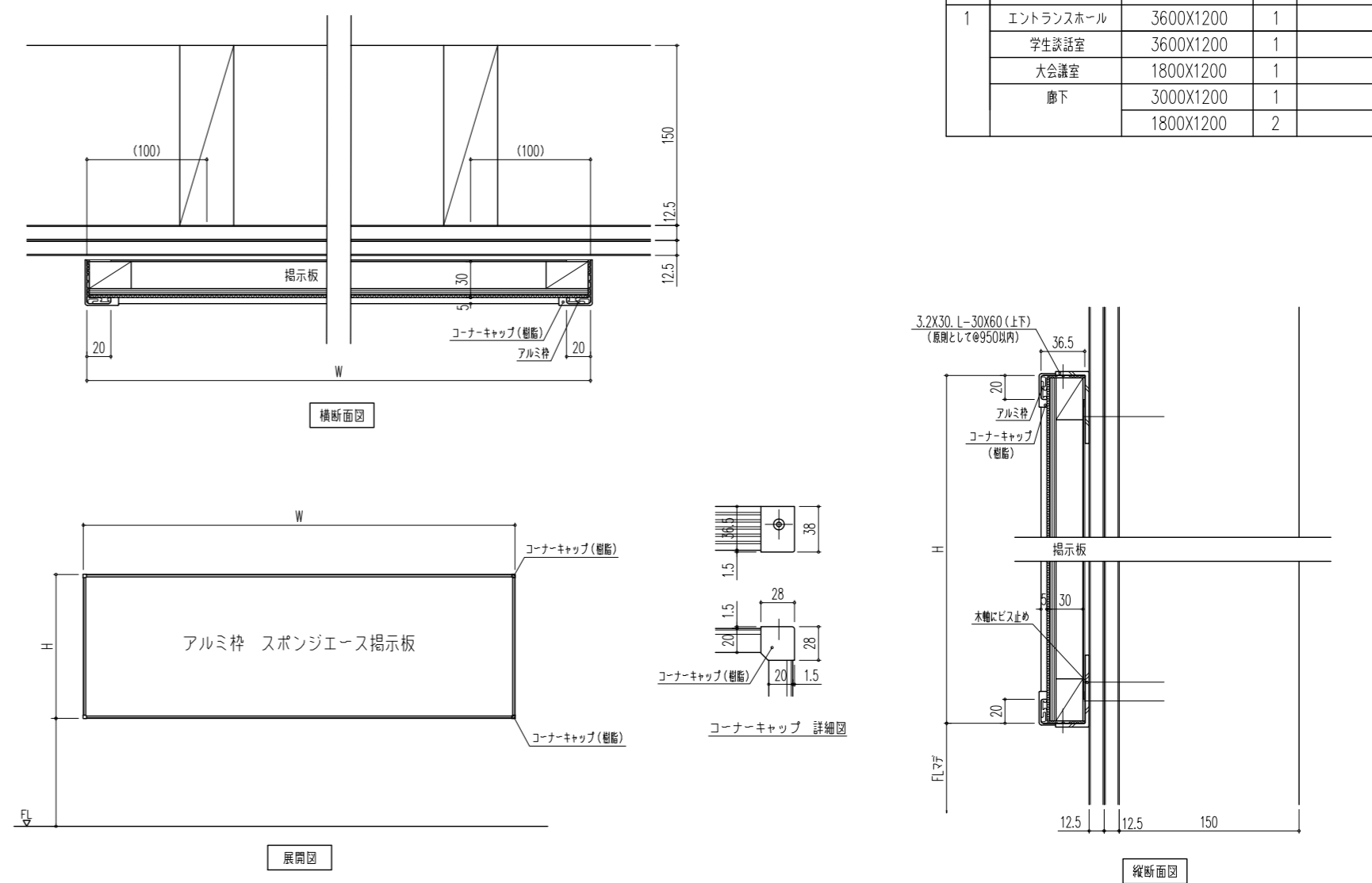


平面白板群引図(案) 1/25



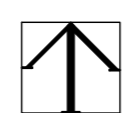
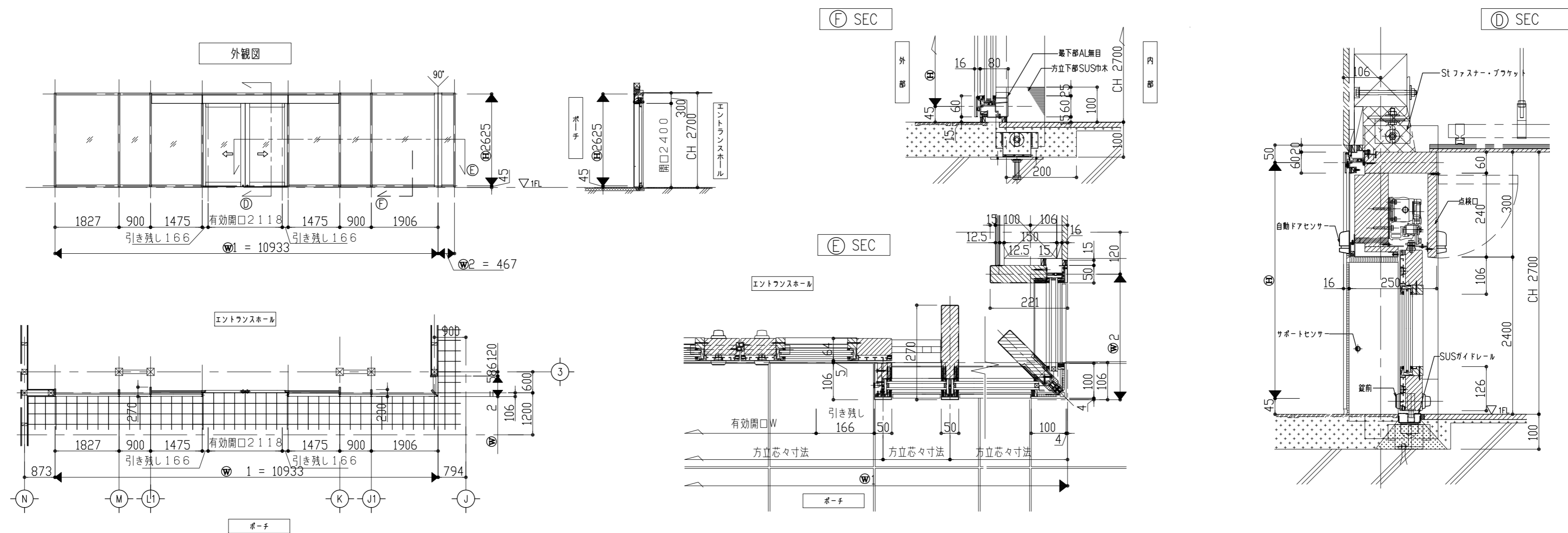
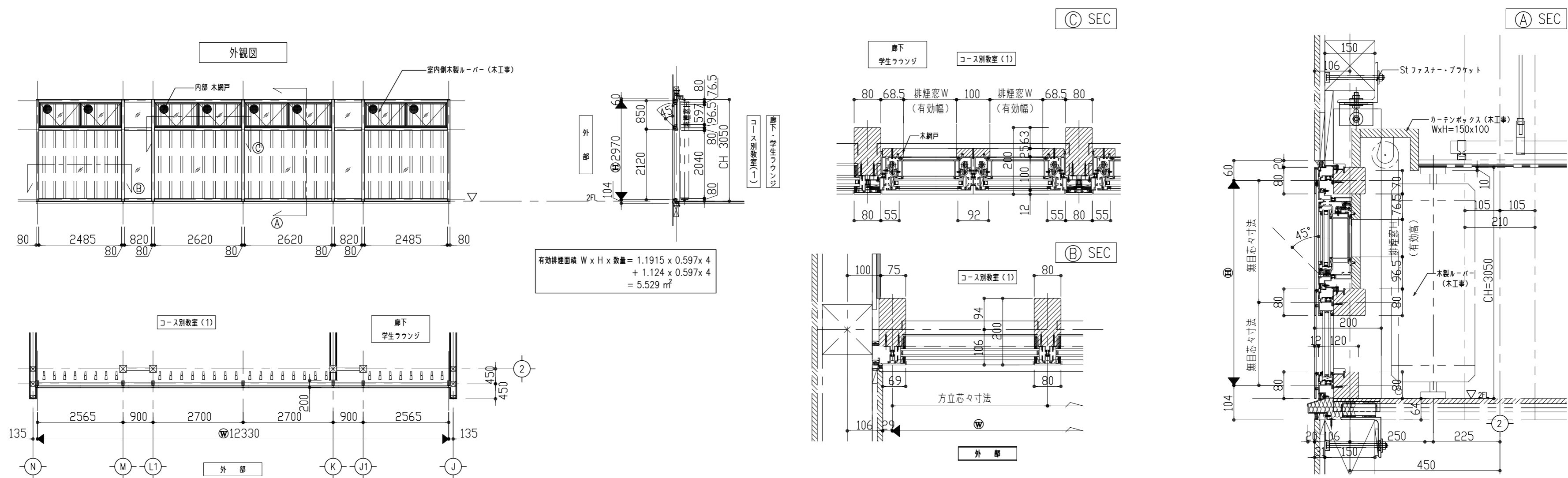
K-6 アルミ枠スポンジエース掲示板 1/5・1/50

階	室名	W X H	数量	備考
1	エントランスホール	3600X1200	1	
	学生談話室	3600X1200	1	
	大会議室	1800X1200	1	
	廊下	3000X1200	1	
		1800X1200	2	



黒板・ホワイトボード・掲示板 共通仕様

1. 黒板・ホワイトボード・掲示板 : 黒板・ホワイトボード・掲示板は黒板JIS規格(JIS S 6007) 認定工場で作成する。
2. 表面材 : 黒板・ホワイトボードの表面材はホロー焼付鋼板を使用する。  
板面色については色見本を提出の上決定とする。  
掲示板の表面材については見本を提出の上決定とする。
3. 粉受 : 黒板消し・ホワイトボード用ラッフルが横に覆かされた状態で置けるものとする。(有効巾約80mm)
4. 取付 : 取付壁・下地別に施工図を作成し、承認を受けて施工すること。
5. その他 : 環境配慮のため、製作はISO 14001取得企業とする。  
品質確保のため、製作はISO 9001取得企業とする。  
製作にあたり、事前に製品の品質証明書および材料及び接着の安全データシートを提出し承認を受ける。



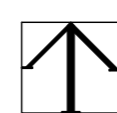
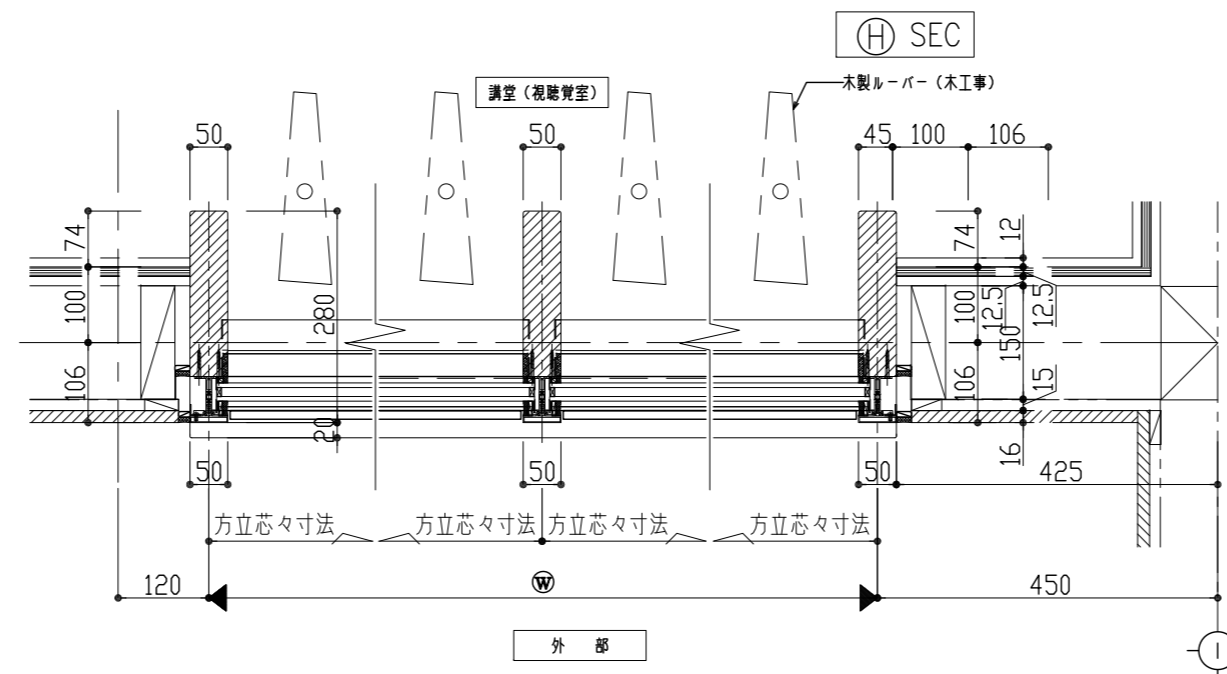
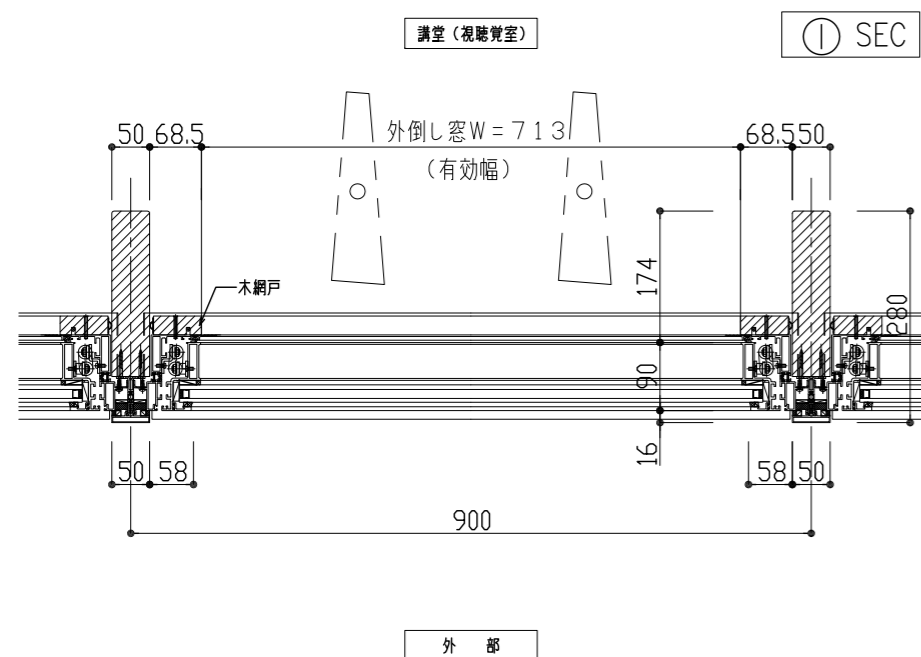
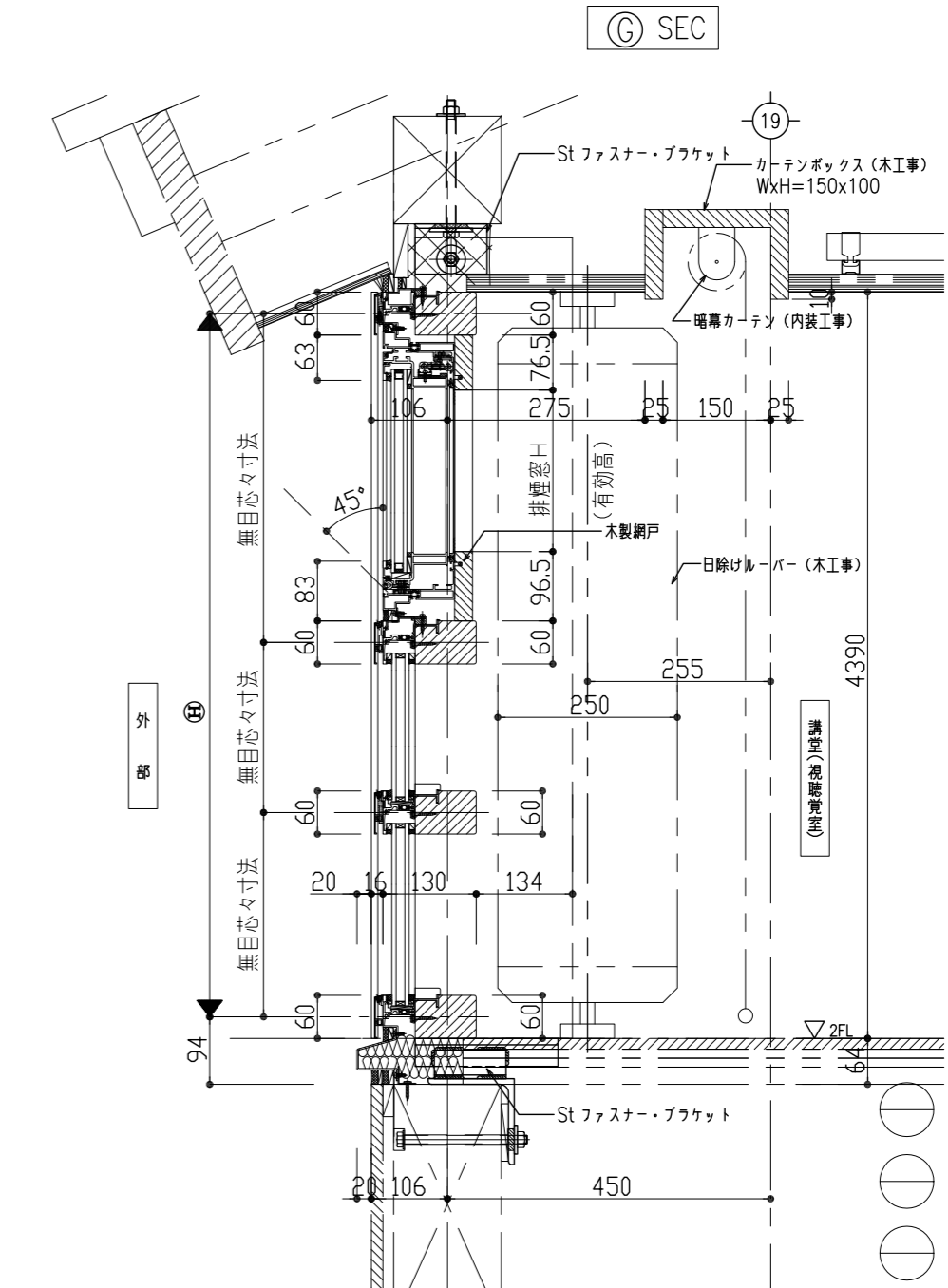
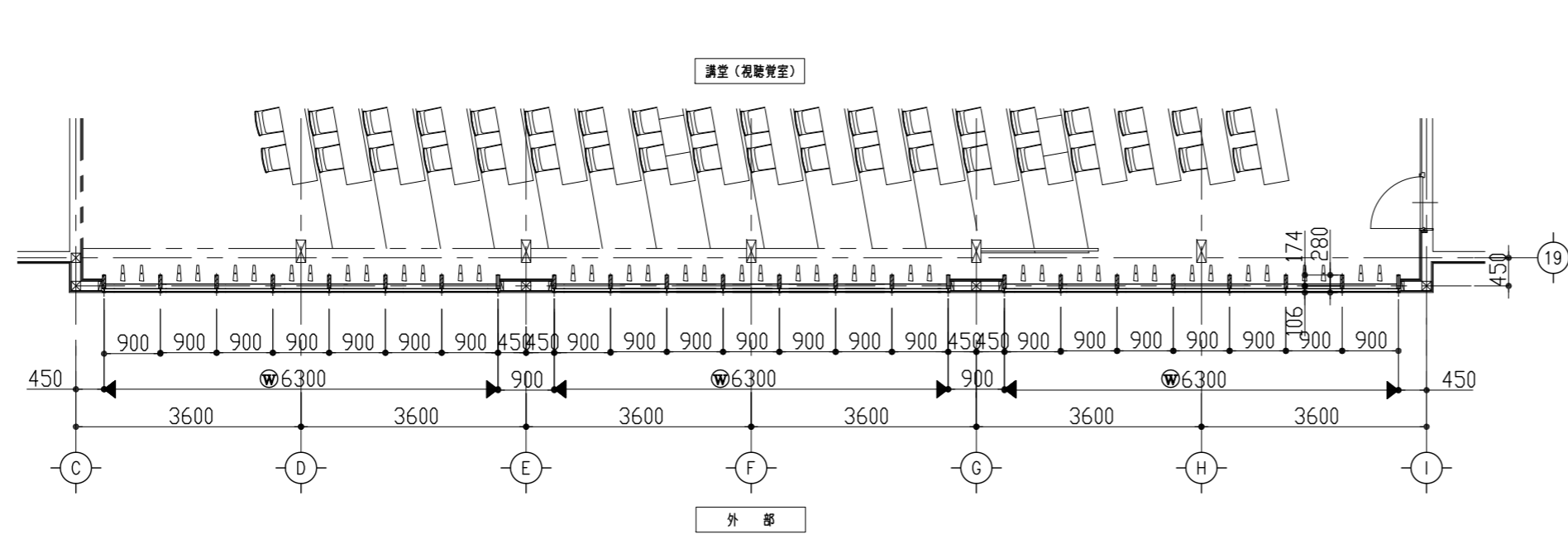
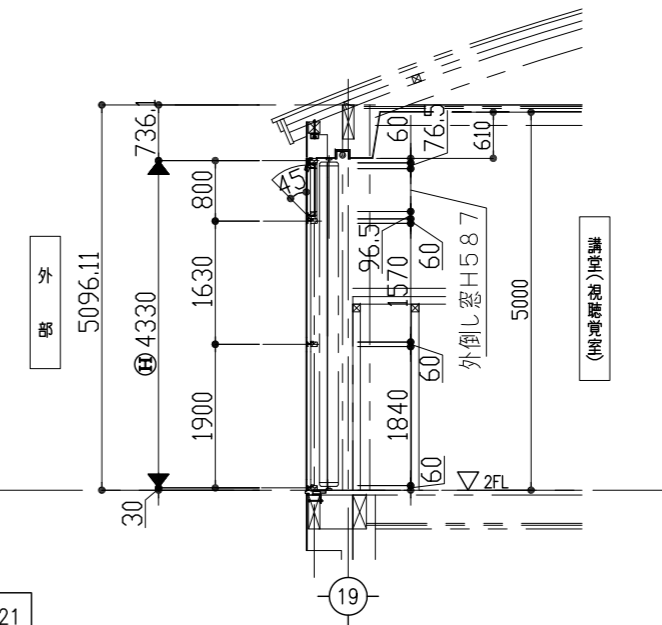
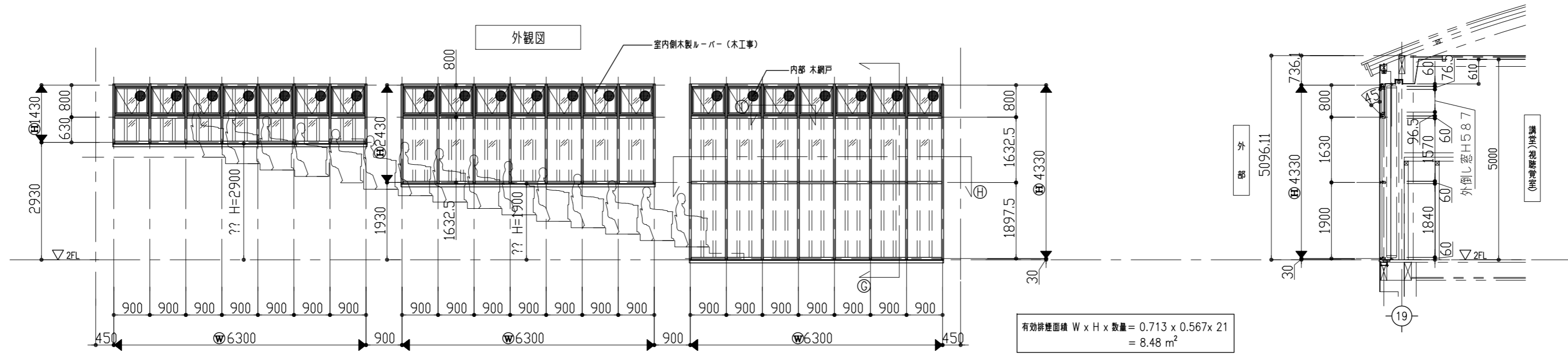
総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認 設計 担当

縮尺 A2:1/10, A4:1/20  
設計年月日 00.00.00

工事名称 大月短期大学新校舎建設工事  
図面名称 木+アルミ複合サッシ詳細図(1)



総合建築設計事務所

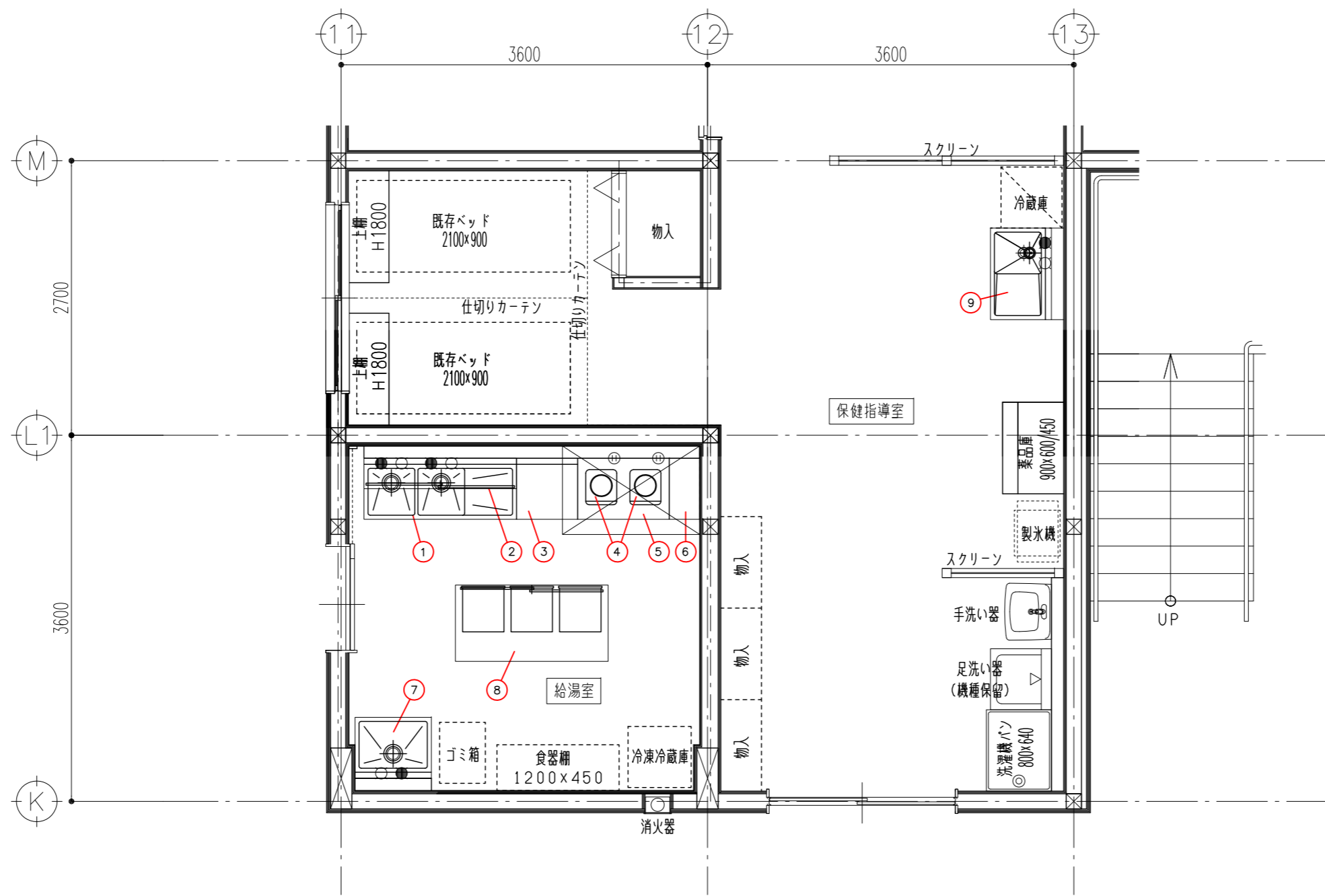
一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

縮尺  
A2:1/10, A4:1/20  
設計年月日  
00・00・00

工事名称 大月短期大学新校舎建設工事  
図面名称 木+アルミ複合サッシ詳細図(2)

D-85  
No,



NO.	器具名	品番	数	寸法			給水径 (A)	給湯径 (A)	排水径 (A)	ガス(LPG)		電気 (50Hz)			フード	備考
				W(mm)	D(mm)	H(mm)				径 (A)	消費量 (kW)	100V (w)	200V (kW)	300V (kW)		
1	二槽水切付シンク	BSM2-156R	1	1500	600	800	15X2	15X2	50X2							
2	吊戸棚	BCS9-1530	1	1500	300	900										
3	調理台	BW-066	1	600	600	800										
4	I H調理器	KZ-PH33	2	304	345	54						1400x2		○		
5	作業台	BW-096N	1	900	600	800										
6	作業台	BW-036N	1	300	600	800										
7	一槽シンク	BS1-076	1	750	600	800	15	15	50							
8	引出付調理台	BHD-157N	1	1500	750	800										
9	一槽水切付シンク	BSM1-096R	1	900	500	800	15	15	50							
総計			10									2800				



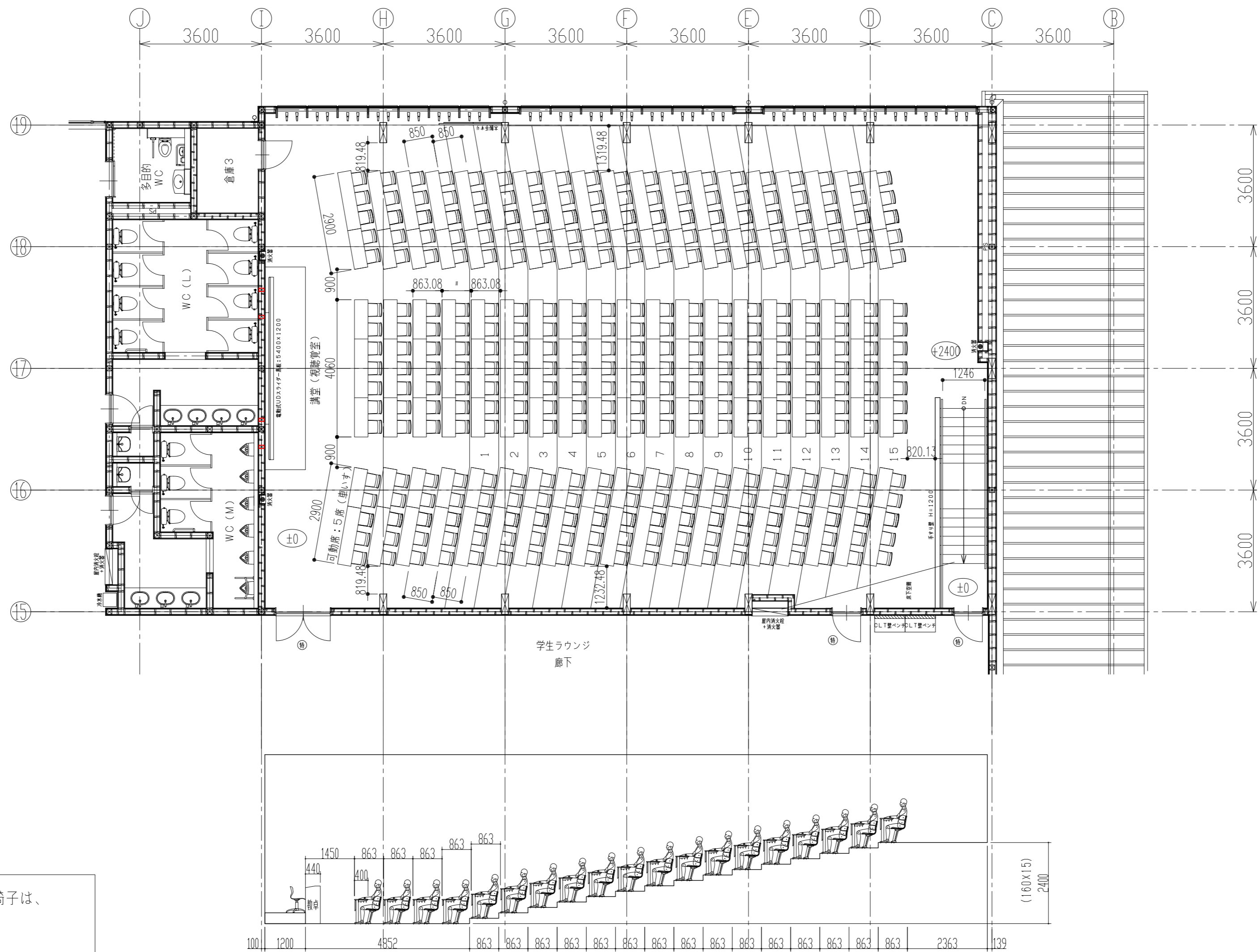
総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

縮尺  
A2:1/50. A4:1/100  
設計年月日  
00・00・00

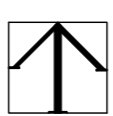
工事名称	大月短期大学新校舎建設工事
図面名称	給湯室・保健指導室 流し台設備詳細図



講堂の講義机及び椅子は、  
別途工事とする。

講義机の幕板部分には  
山梨県大月市産のスギ材を使用

講堂（視聴覚室）  
席数：323席  
（可動席：5席含む）



**総合建築設計事務所**  
一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認 設計 担当

縮尺  
A2:1/100, A4:1/200  
設計年月日  
00・00・00

工事名称  
大月短期大学新校舎建設工事  
図面名称  
講堂 講義机・椅子 詳細図(1) : 参考図

D-87  
No,

製品図 固定席 S=1:20

仕様【SCF-5105-4/PAD1(F)特】

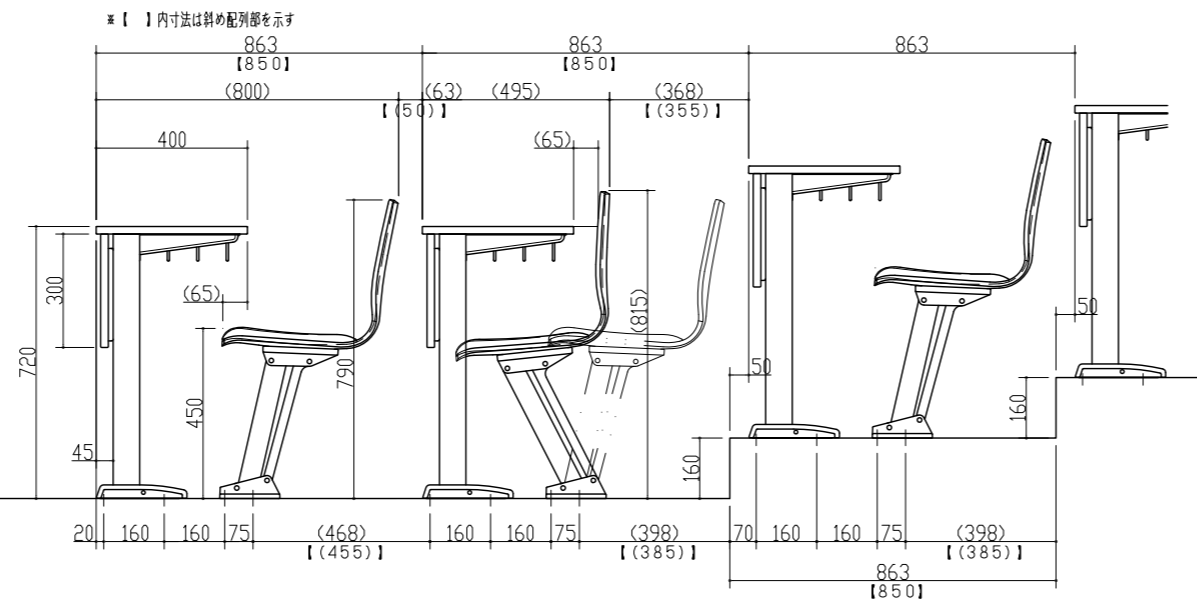
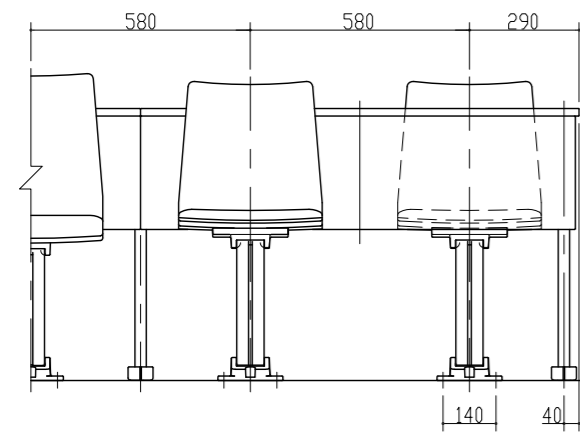
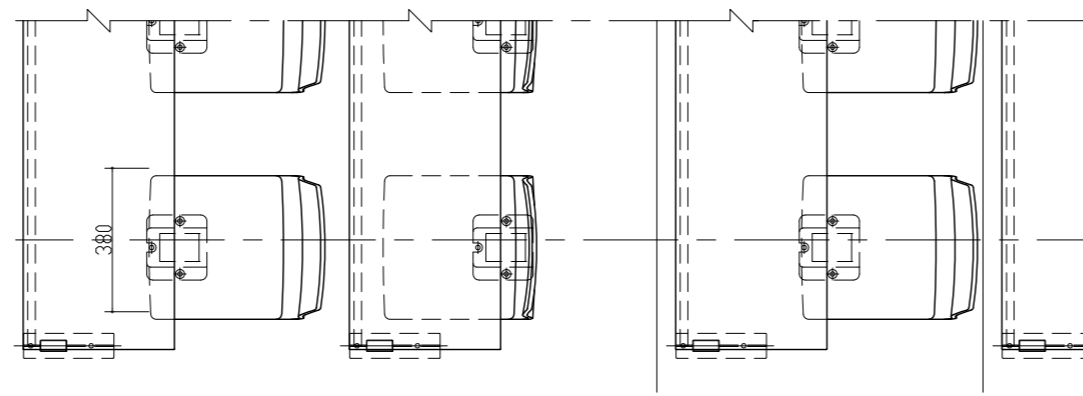
<椅子仕様>

- 上体 t11.5メラミン樹脂強化カバ合板
- 座パッド t4.5合板芯 t20ウレタンフォーム 布地張
- 脚 アルミダイカスト メラミン樹脂焼付塗装 自動収縮機構付

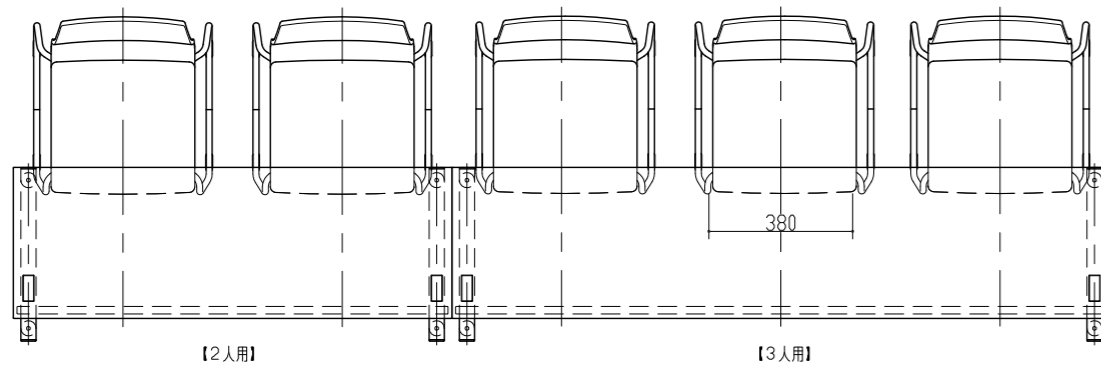
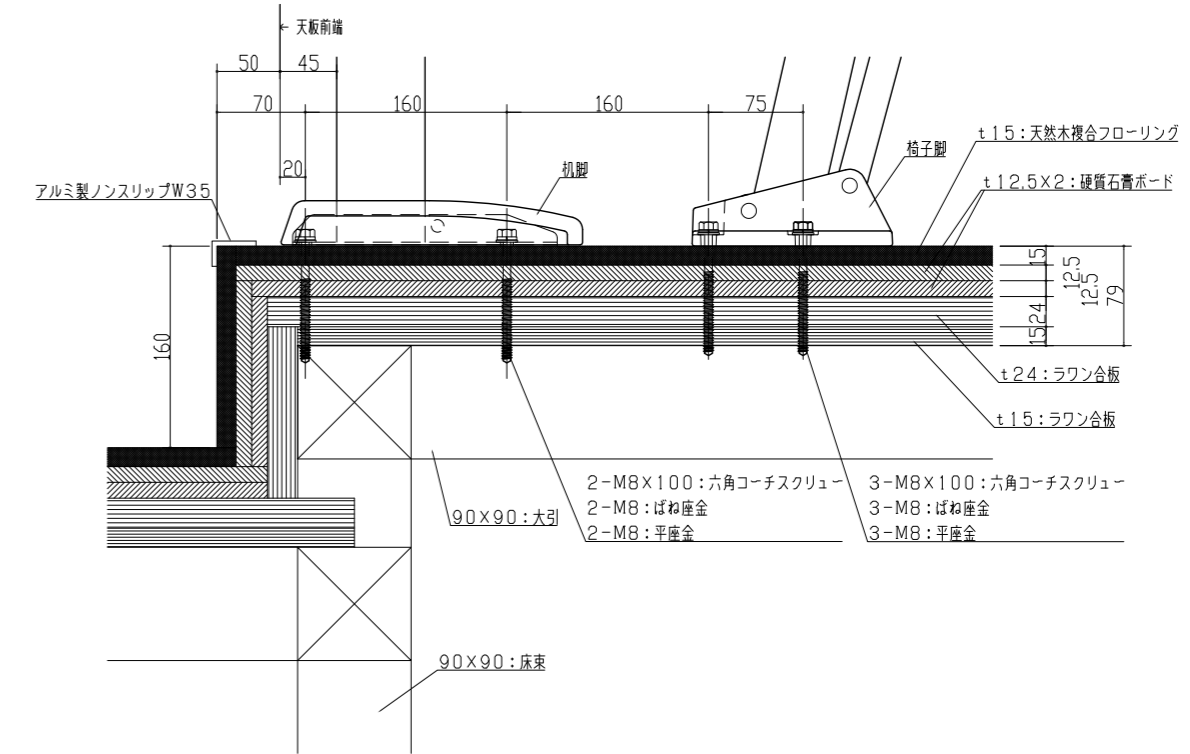
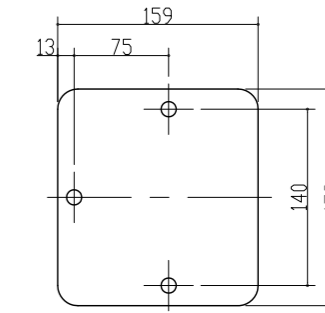
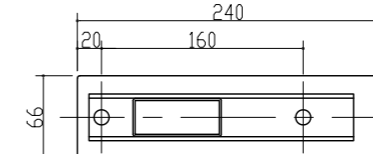
<机仕様>

- 天板 t20圧密スギ材 ポリウレタン樹脂塗装
- 前板 t20圧密スギ材 ポリウレタン樹脂塗装
- 脚 70×30×t1.6鋼管 t2.0, t3.2鋼板
- メラミン樹脂焼付塗装
- 脚座カバー ABS樹脂成型品
- 脚 06棒鋼 粉体塗装

\*天板・前板のスギ材は山梨県大月市産を使用。



脚固定詳細 S=1:6



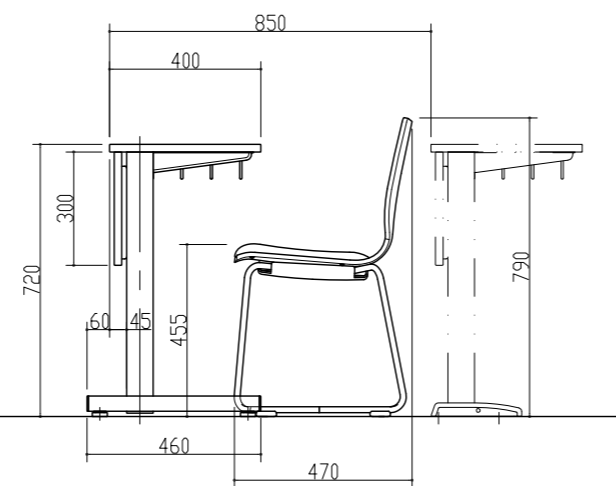
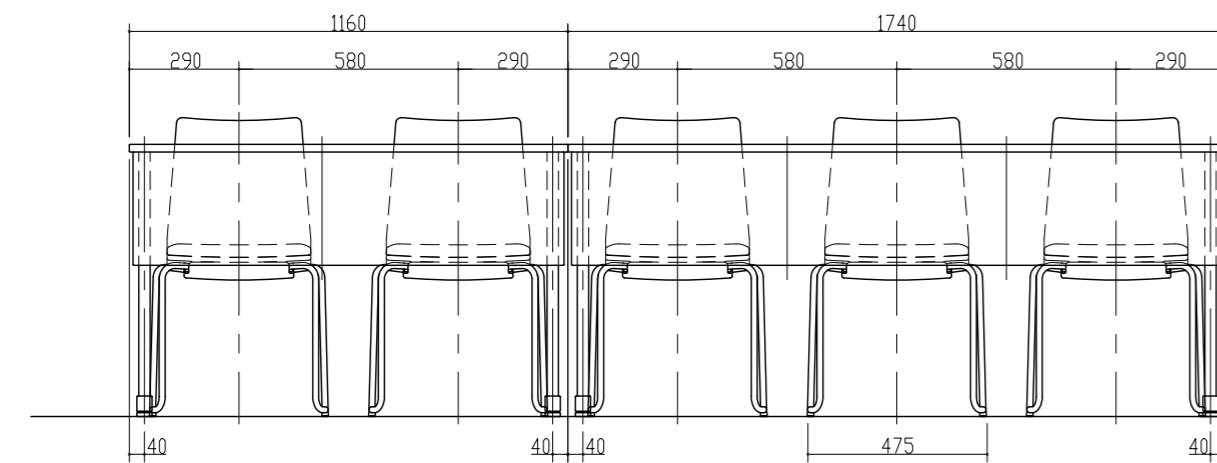
製品図 可動席 S=1:20

仕様

- 椅子仕様?【SCM-5105-4-C/PAD1(F)】
- 上体 メラミン樹脂強化カバ合板
- 座パッド t4.5合板芯 t20ウレタンフォーム 布地張
- 脚 t1.5×015.5鋼管 t1.6鋼板 粉体塗装
- 脚端 PPA樹脂成型品
- スタックカバー PPA樹脂成型品

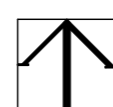
- 机仕様【SCM-5505-T1特】
- 天板 t20圧密スギ材 ポリウレタン樹脂塗装
- 前板 t20圧密スギ材 ポリウレタン樹脂塗装
- 脚 70×30×t1.6, 40×40×t1.6鋼管
- t2.0, t3.2鋼板
- メラミン樹脂焼付塗装 アジャスター付
- 06棒鋼 粉体塗装

\*天板・前板のスギ材は山梨県大月市産を使用。



講堂の講義机及び椅子は、別途工事とする。

講義機の幕板部分には山梨県大月市産のスギ材を使用



総合建築設計事務所

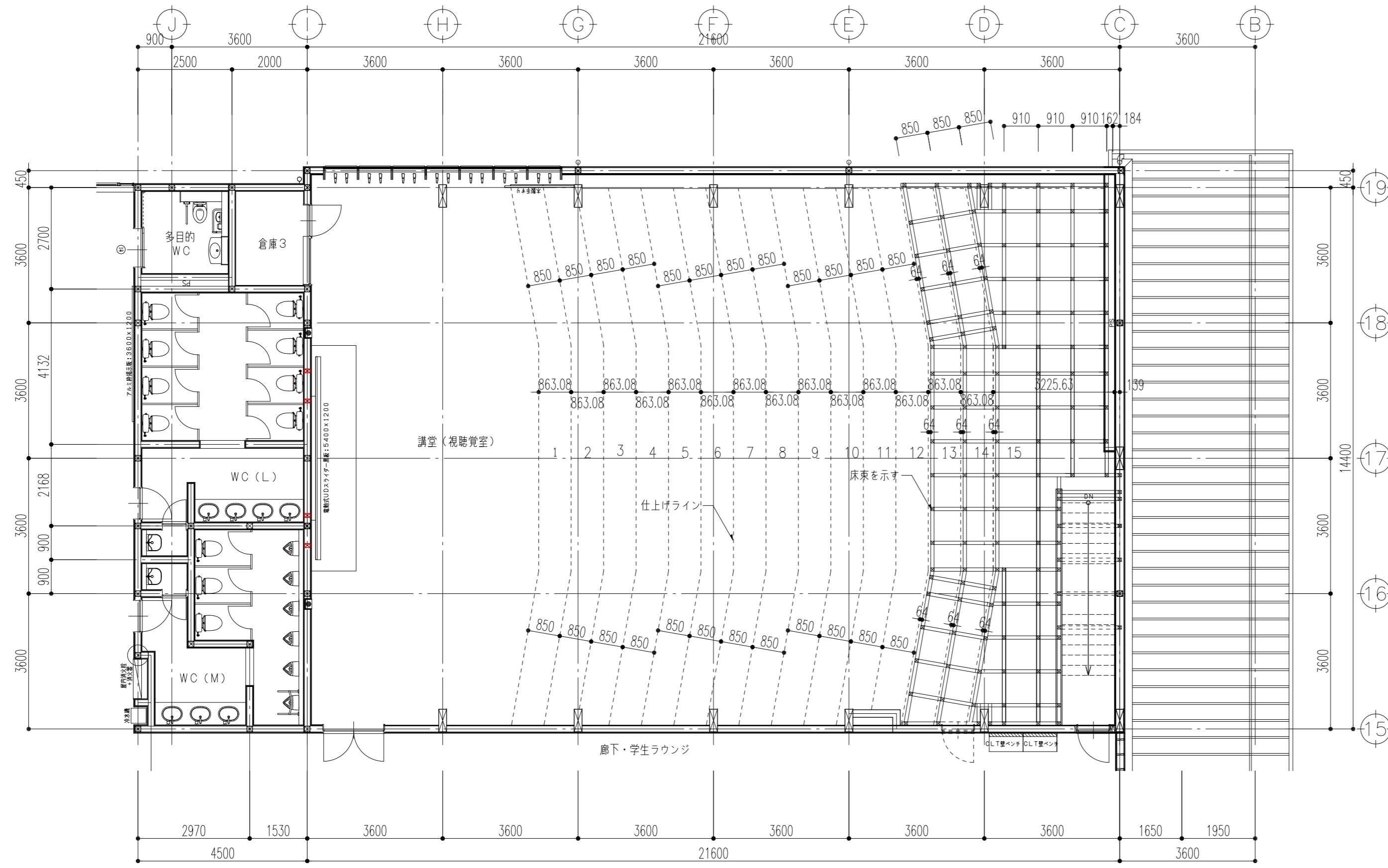
一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当
----	----	----

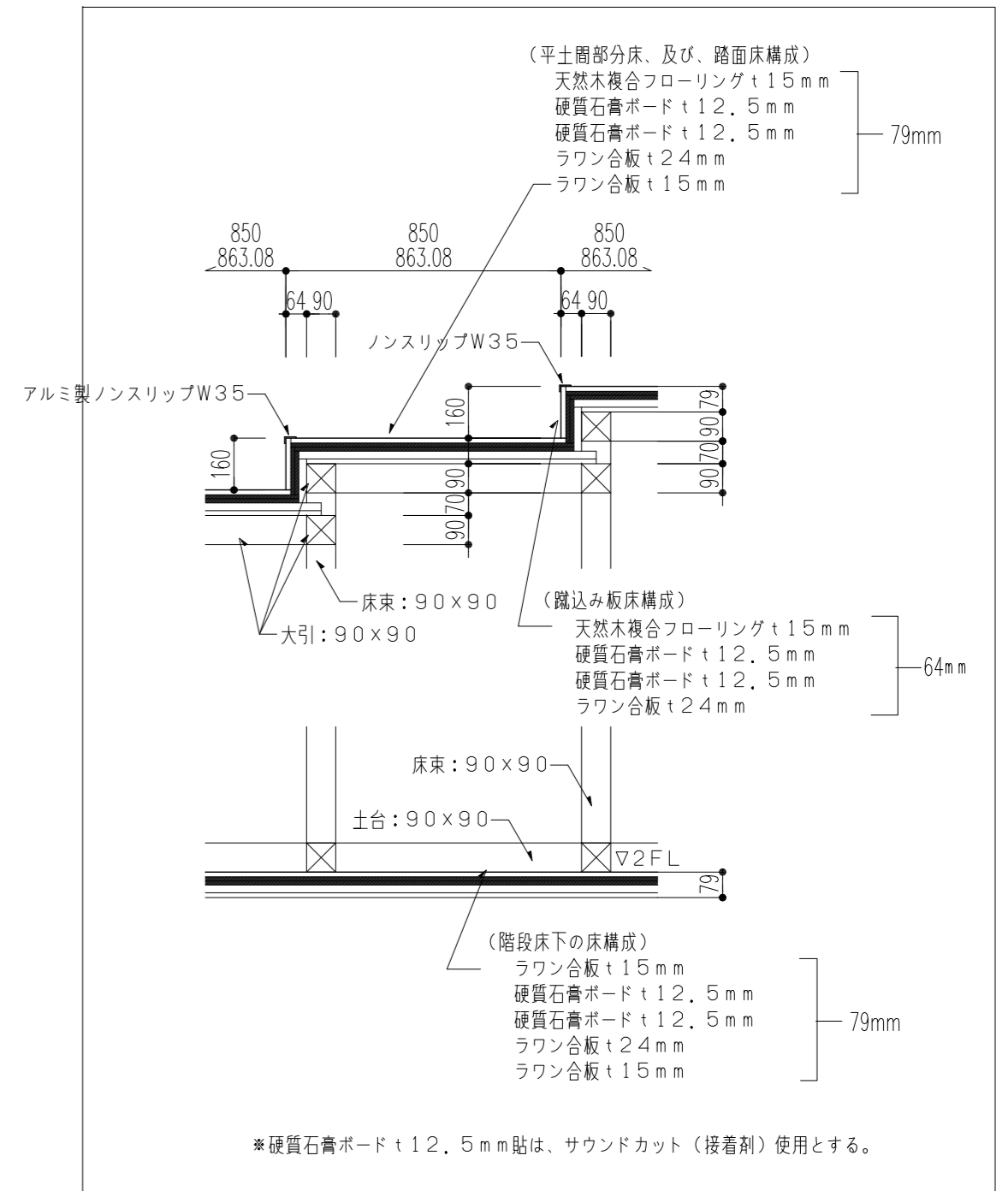
縮尺 A2:1/20, A4:1/40  
設計年月日 00・00・00

工事名称	大月短期大学新校舎建設工事
図面名称	講堂 講義机・椅子 詳細図(2):参考図

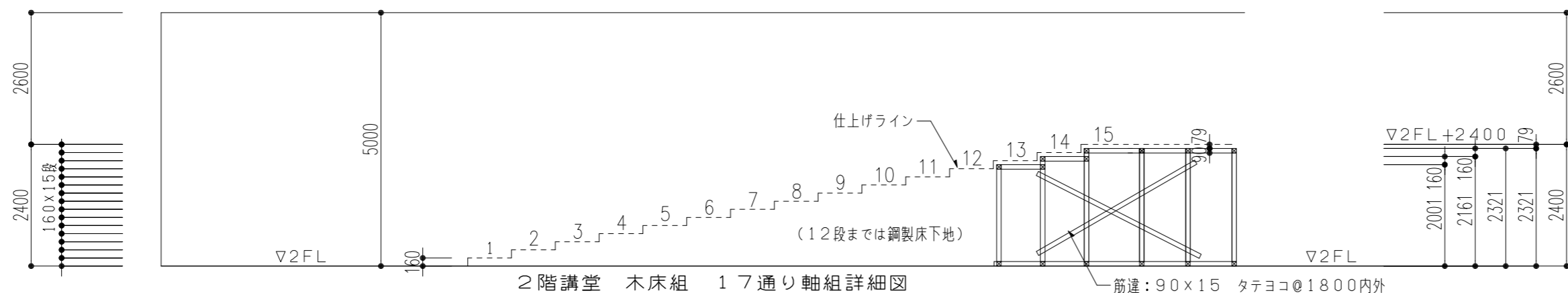
D-88  
No,



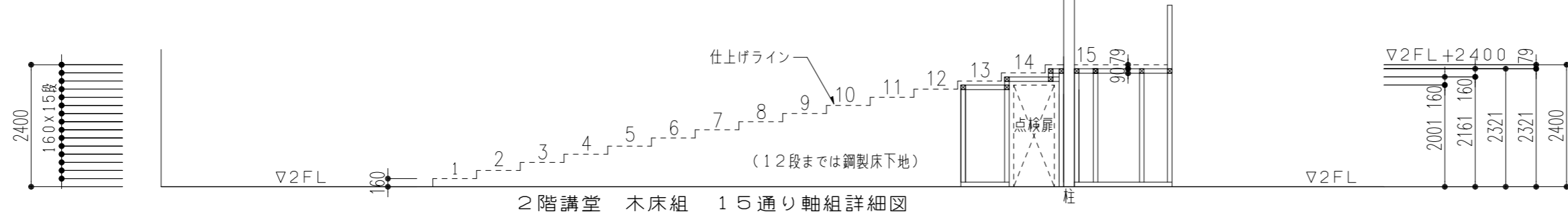
2階講堂 木床組 伏せ図



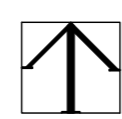
階段床部分詳細 S = 1/20



2階講堂 木床組 17通り軸組詳細図



2階講堂 木床組 15通り軸組詳細図



総合建築設計事務所

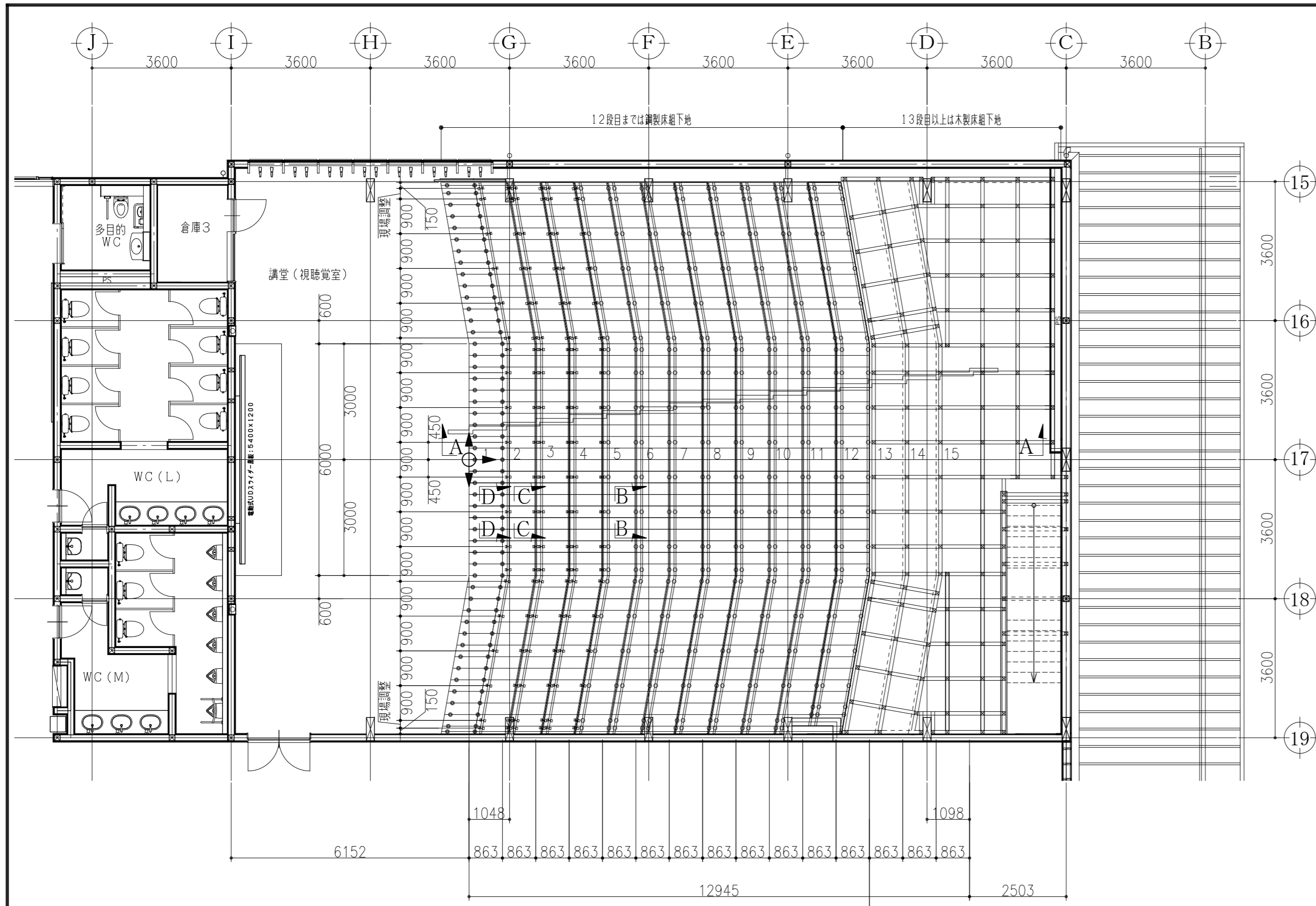
一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当

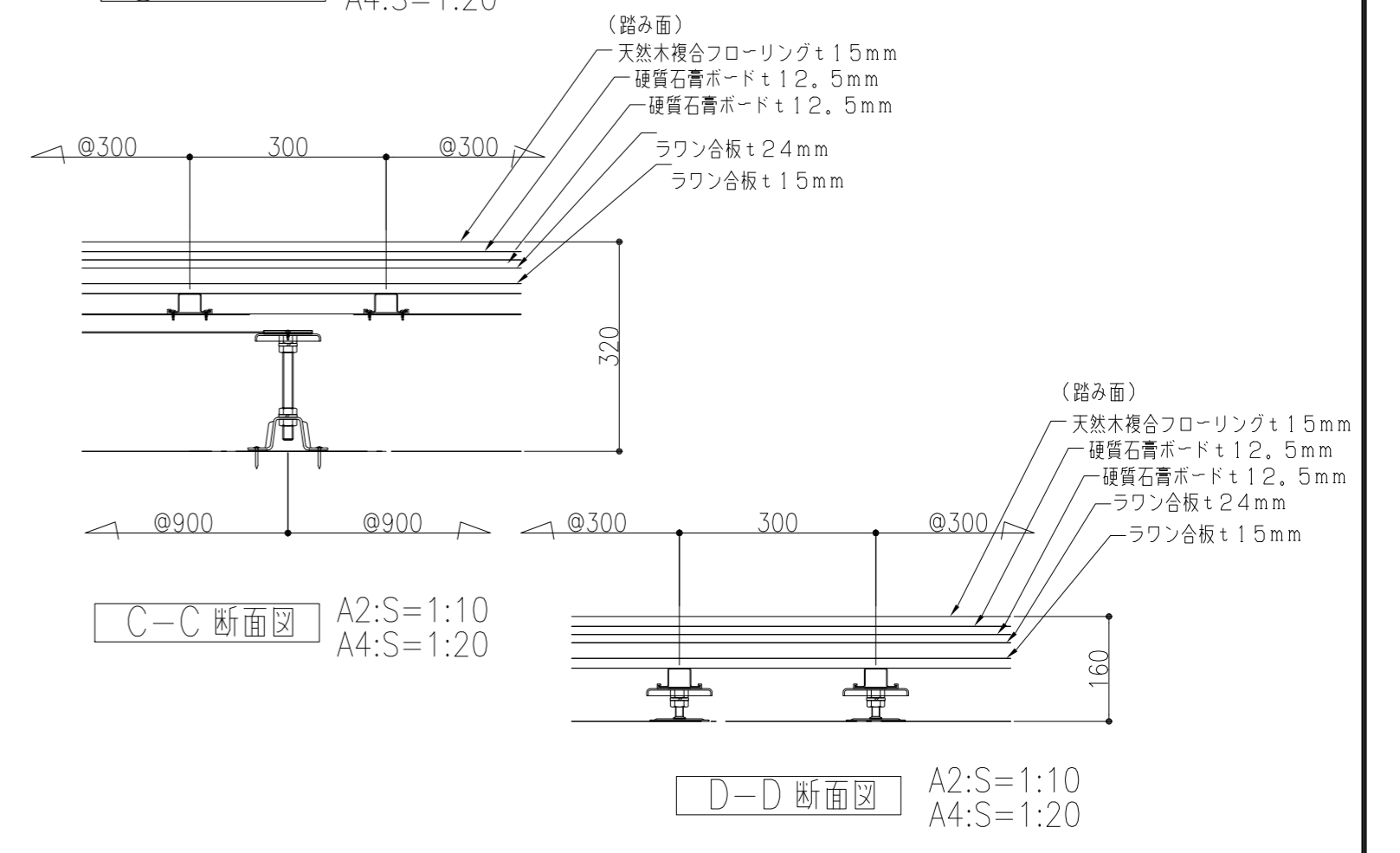
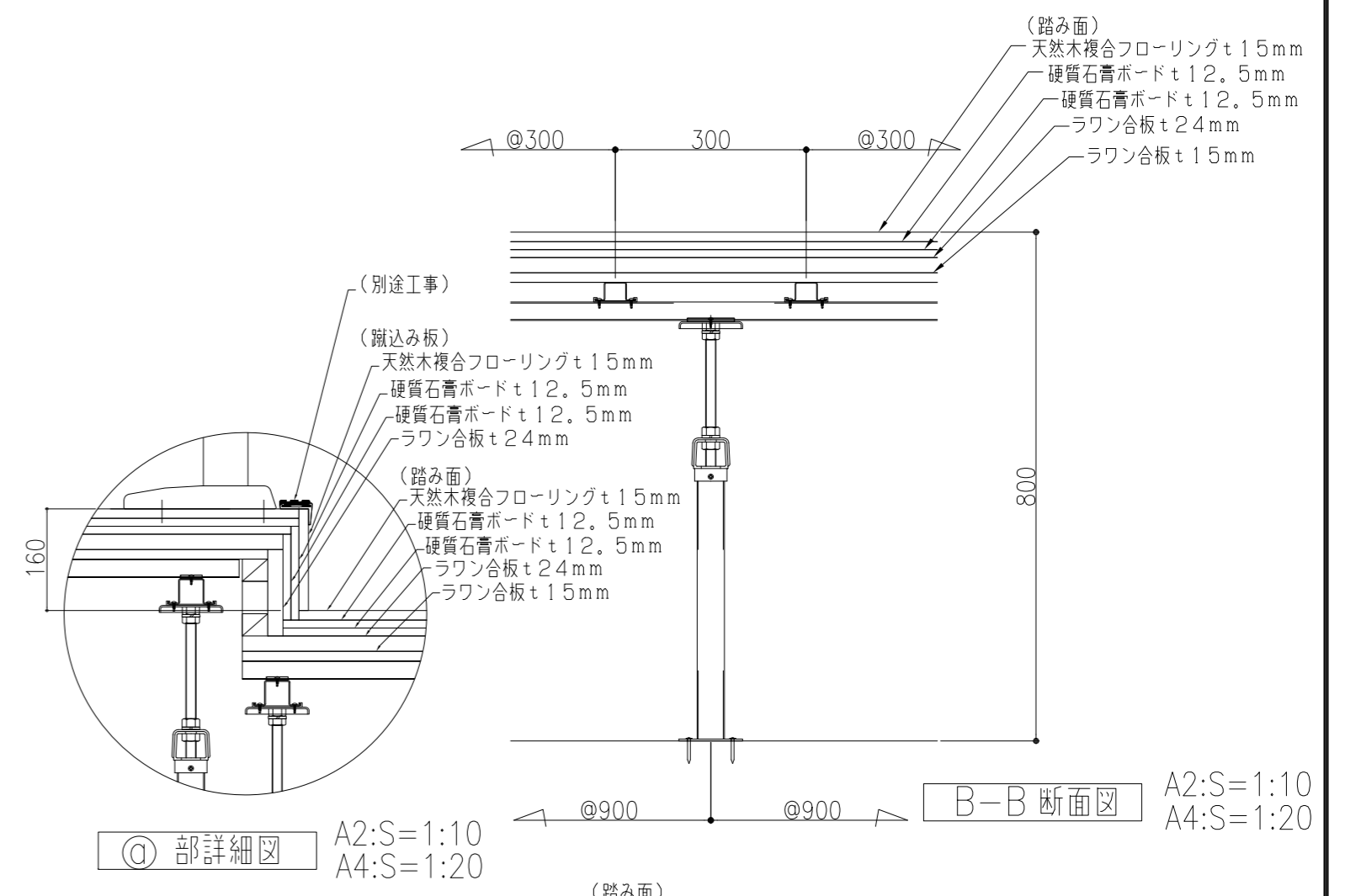
縮尺  
A2:1/100, A4:1/200  
設計年月日  
00:00:00

工事名称 大月短大新校舎建設工事  
図面名称 講堂 木製床組詳細図

D-89  
No,

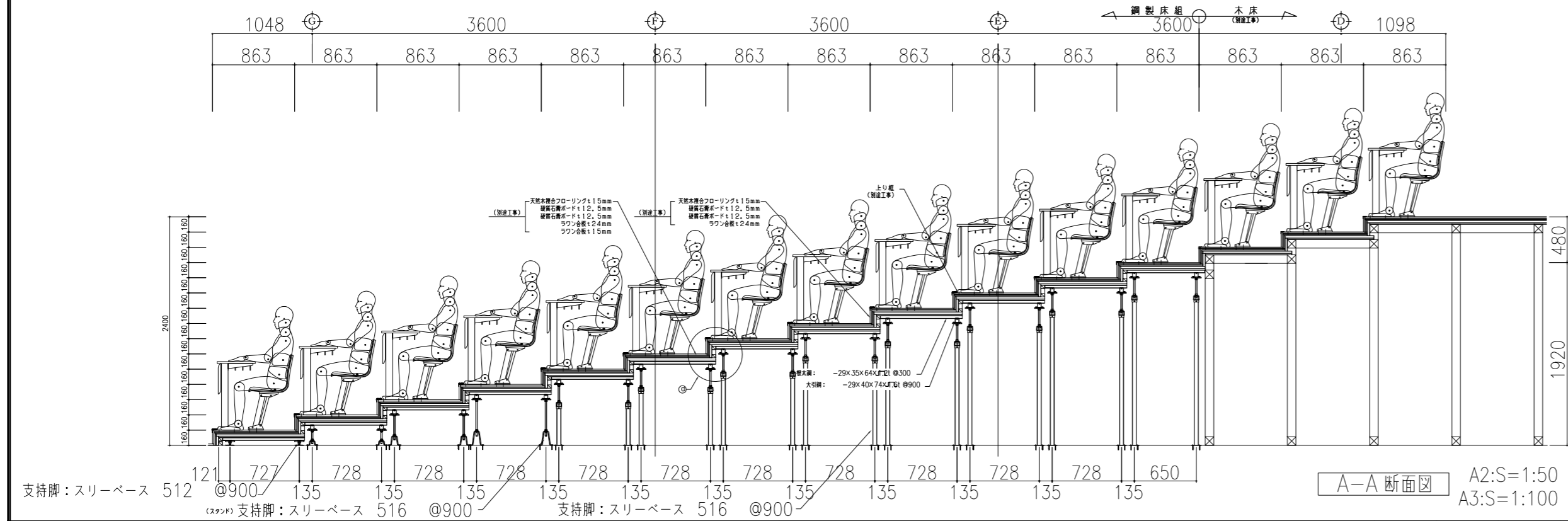


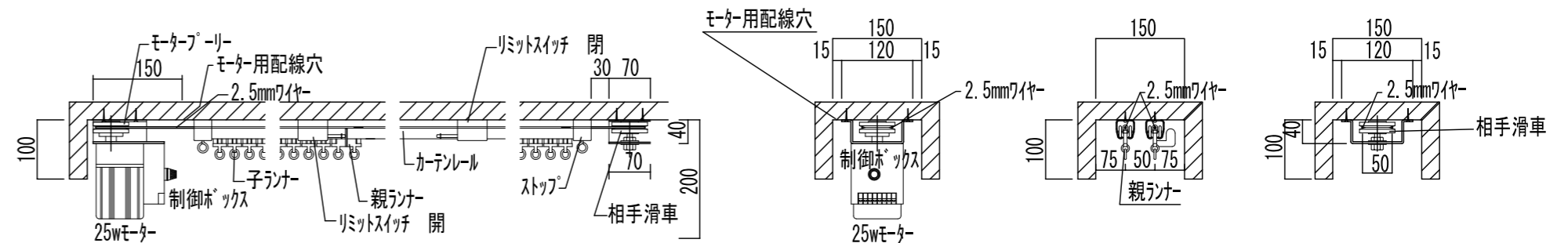
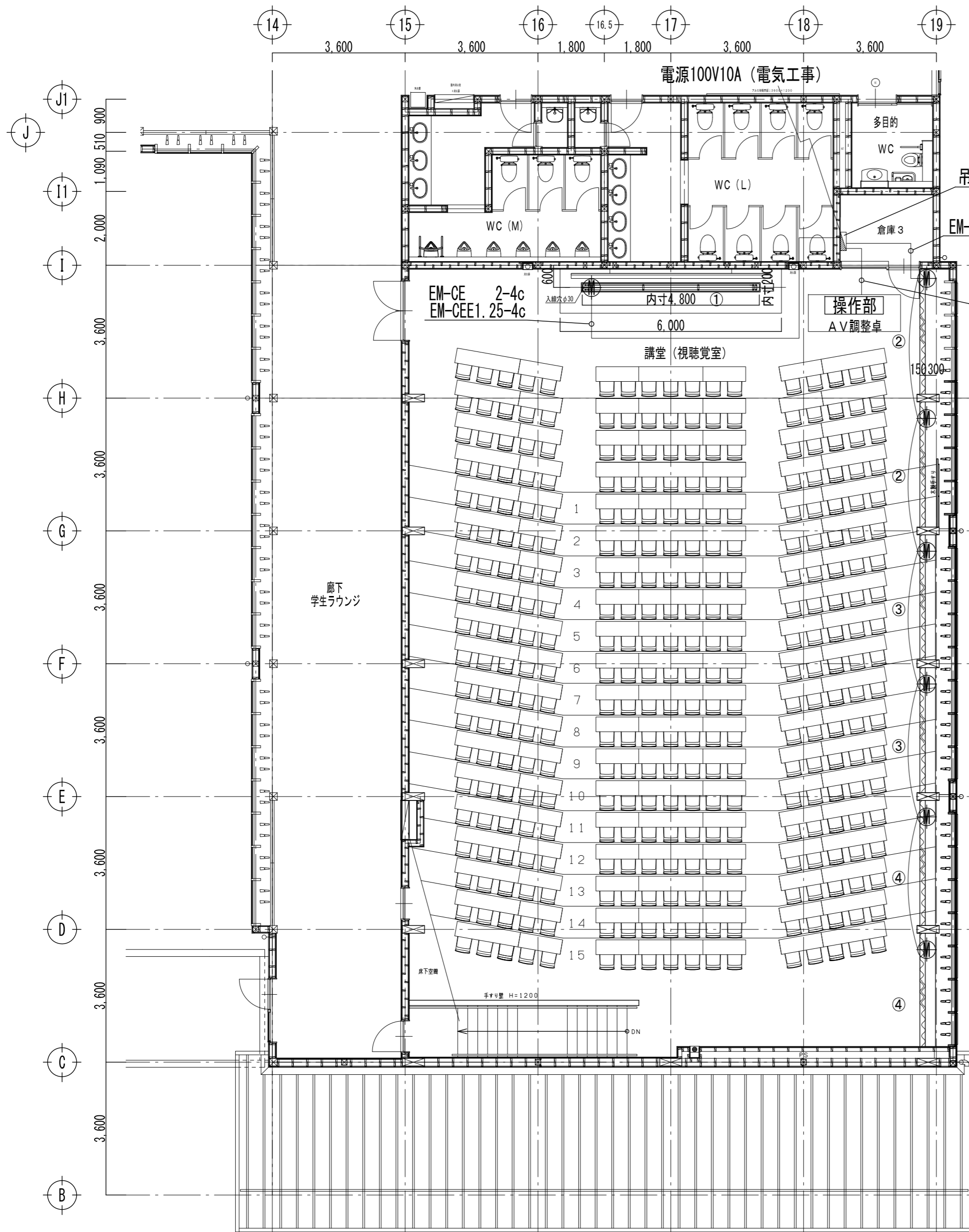
鋼製床伏図 S=1:100 A2:S=1:100 A4:S=1:200



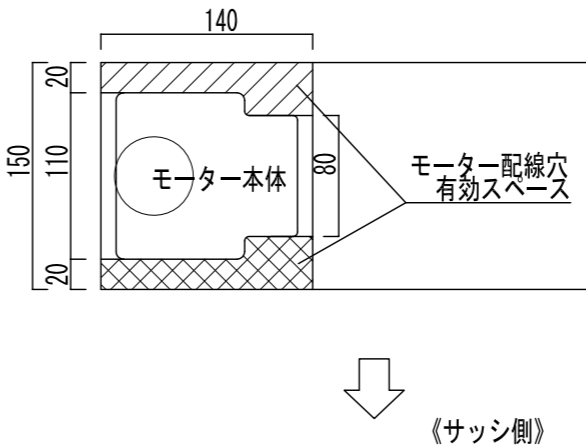
鋼製床組凡例

○	支持脚：スリーブ 516 @900 (パイプ)
⊕	支持脚：スリーブ 516 @900 (スタンド)
◎	支持脚：スリーブ 512 @900
—	根太鋼： $\int$ -29×35×64×1.2t @300
—	大引鋼： $\int$ -29×40×74×1.6t @900
↑	施工基準
天然木複合フローリング t15mm 硬質石膏ボード t12.5mm 硬質石膏ボード t12.5mm ラワン合板 t24mm ラワン合板 t15mm	





25Wモーター仕様 暗幕電動開閉装置 断面詳細図 S=1/10



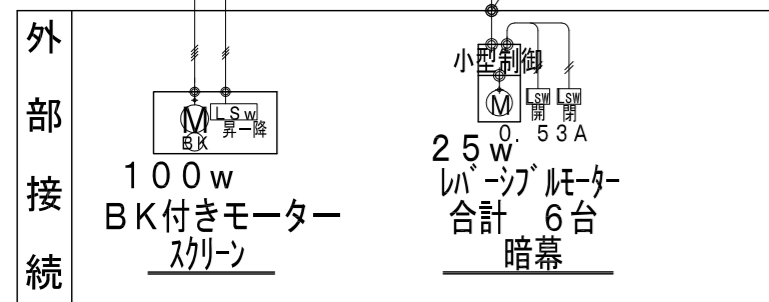
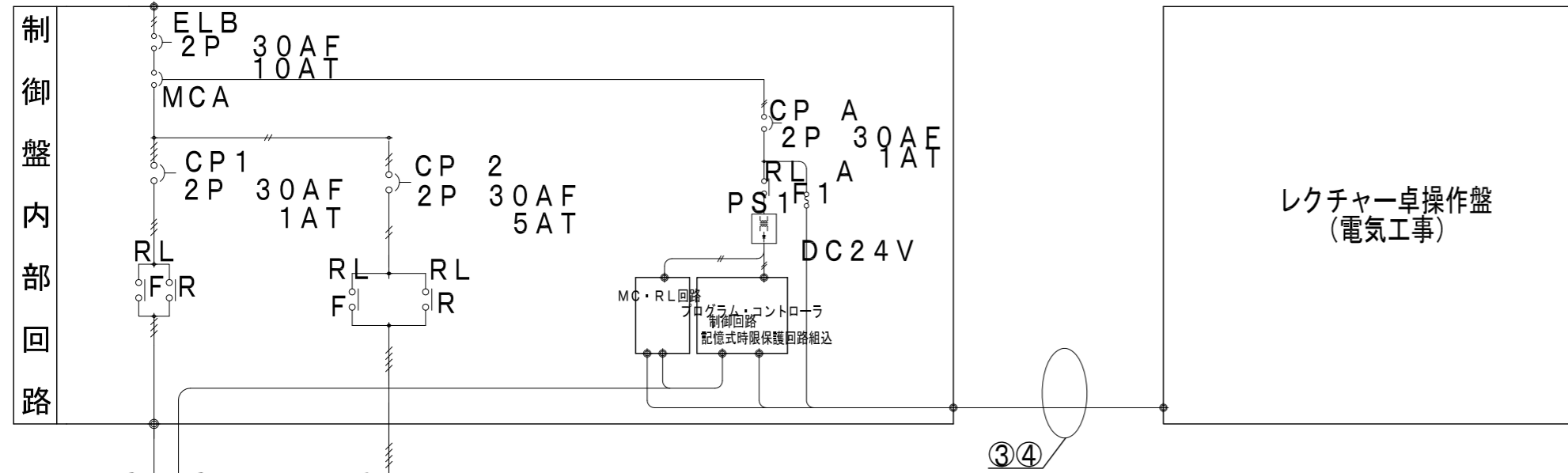
BOX内寸150  
 \*モーター配線穴は、サッシ側の部分が望ましい。  
 \*モーター配線部は全て暗幕BOXのステージ側。

《サッシ側》

仕様表	名称	寸法 (W×H)	数量	操作方式	吊点	装置仕様	幕仕様
1	スクリーン	4,428×2,768 (4.4m寸法)	1式	電動昇降	2	1φ100V100wモーター 上部巻上げ式 木製ボックスに直付	初巾地 205巾 (16:10) 上黒1200
2	暗幕 MR-1	2,500×4,600×2	2式	電動開閉		1φ100V25wモーター 開閉式 大型レール電動 暗幕用ボックス (150×100) に直付	防炎完全遮光 1級品 1.5倍びび
3	暗幕 MR-2	2,500×2,900×2	2式	電動開閉		1φ100V25wモーター 開閉式 大型レール電動 暗幕用ボックス (150×100) に直付	防炎完全遮光 1級品 1.5倍びび
4	暗幕 MR-3	2,500×1,900×2	2式	電動開閉		1φ100V25wモーター 開閉式 大型レール電動 暗幕用ボックス (150×100) に直付	防炎完全遮光 1級品 1.5倍びび
備考	電気1次側の配管配線工事は電気工事。 木製ボックスは建築工事。(スクリーン用、暗幕用150W×100H)						

電源 (1次側別途工事)  
1φ2w 100V 50Hz

電気系統図

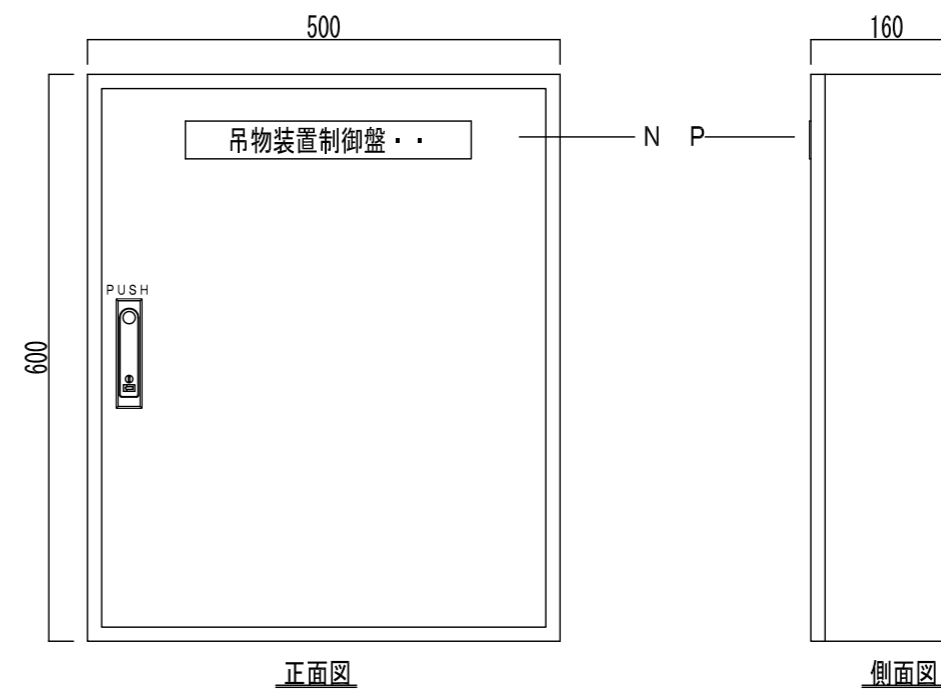


電気配線種別

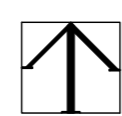
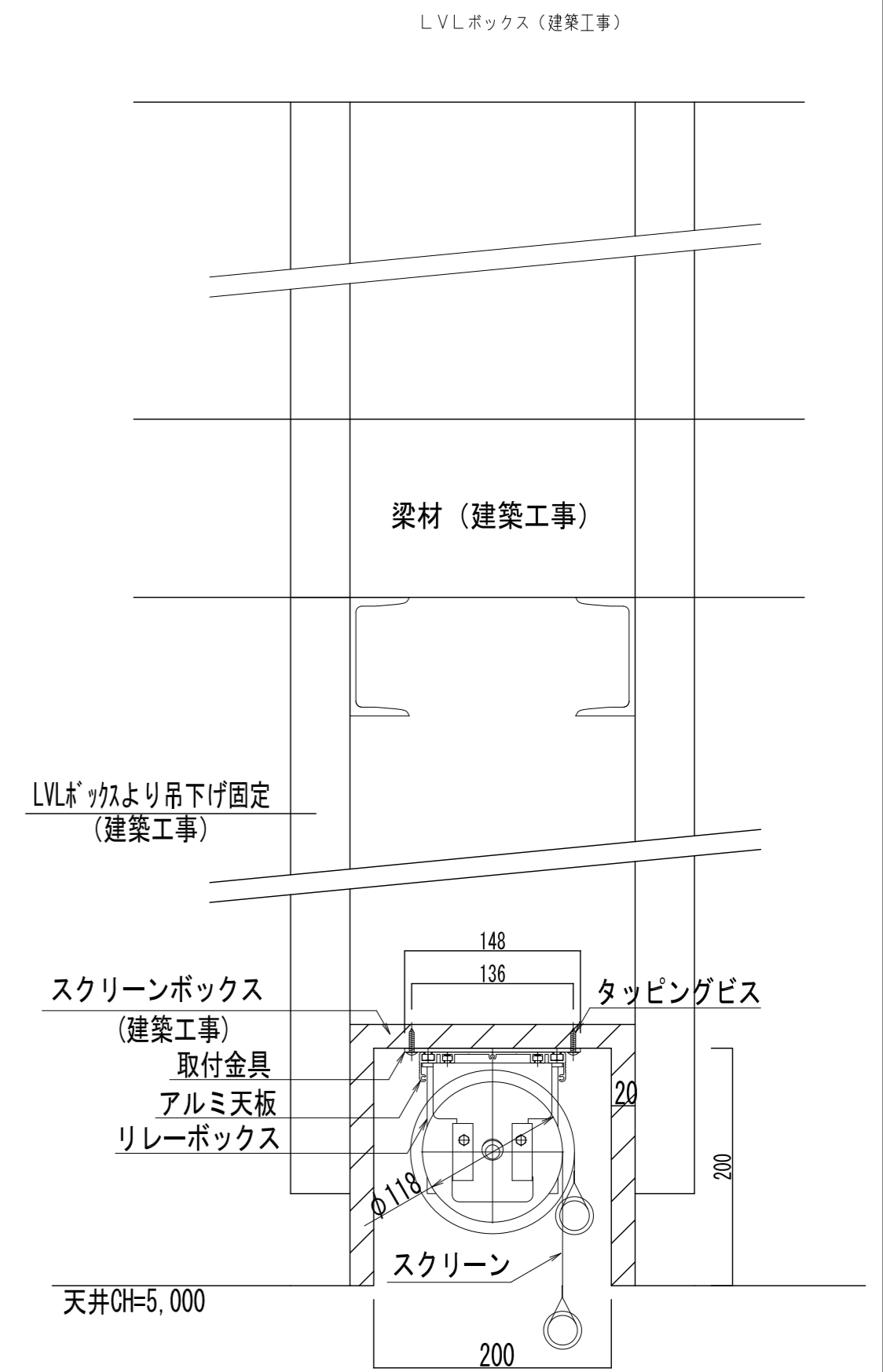
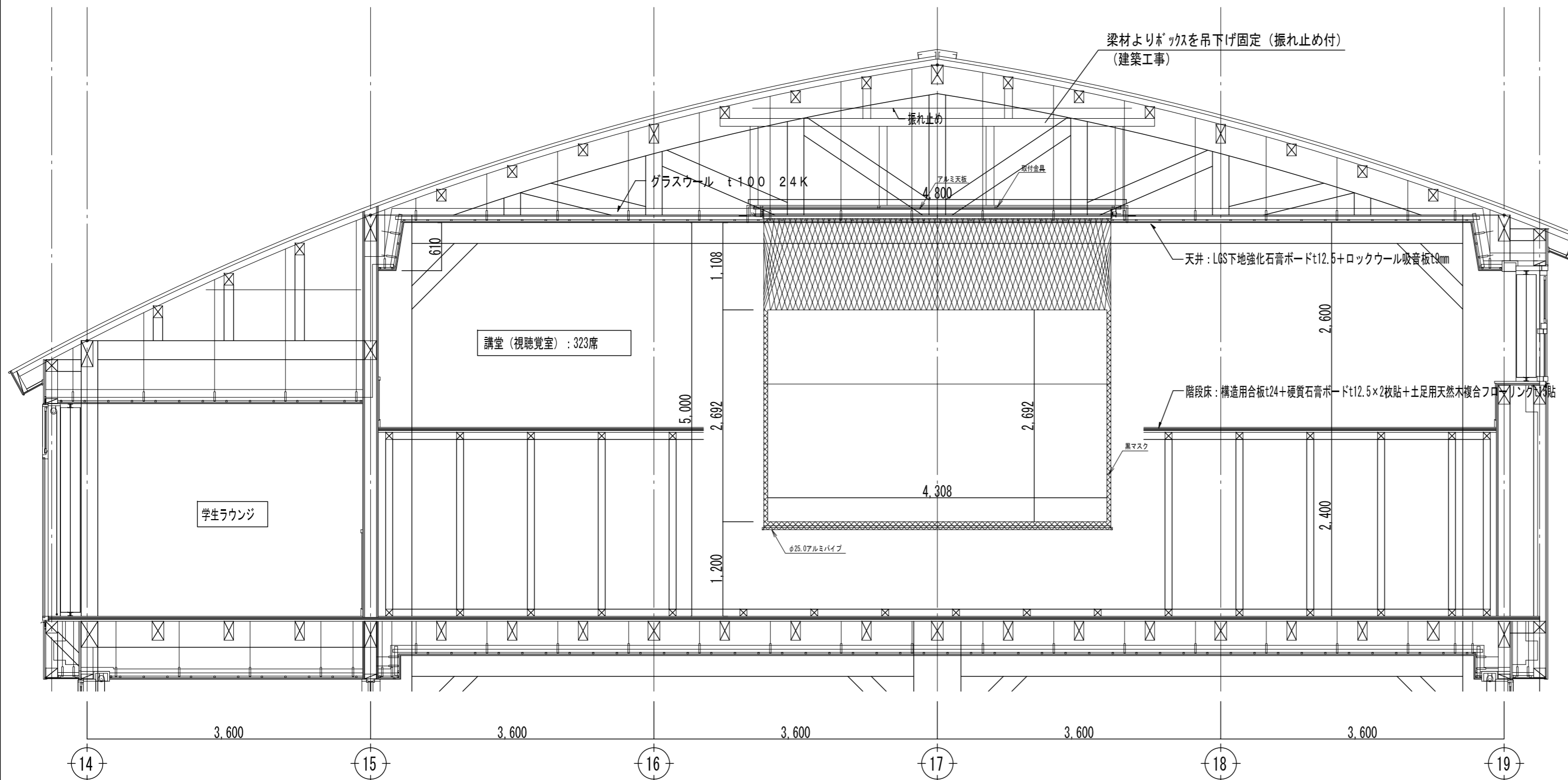
- ① EM-CE 2° -4C×1
  - ② EM-CEE 1. 25°-4C×1
  - ③ EM-KPEE-SB0. 75°-10P×1
  - ④ EM-CEE 1. 25°-3C×1
- \* 電気配管配線の1次側は電気工事

システム内容

- \* リミットスイッチによる上限(開)、下限(閉)の自動停止。
- \* 記憶式カウンタータイマー回路による時限保護。(電源カット)
- \* 漏電ブレーカ及びモーターブレーカ使用による保護。



吊物装置制御盤  
取付け姿図 S=1/8  
盤ボックス : 日東S16-56  
W H D  
500×600×160  
色 : 2.5Y9/1 または指定色  
N P : ネームプレート  
※盤の取付位置は打合せによる。



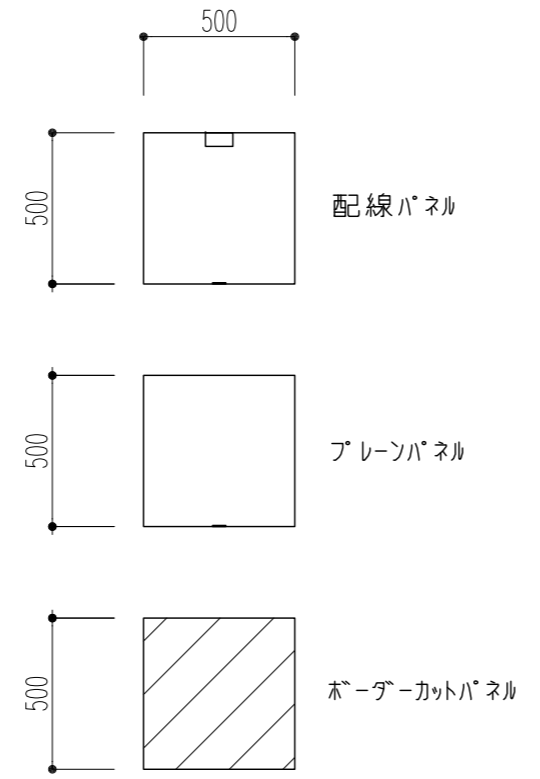
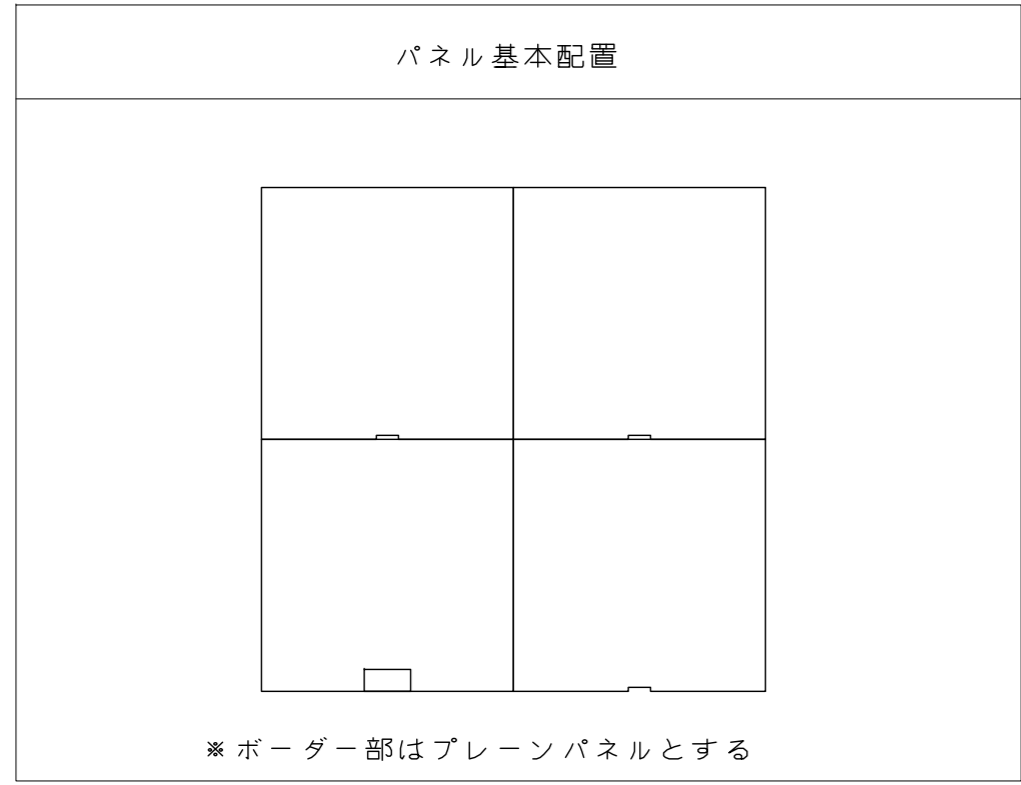
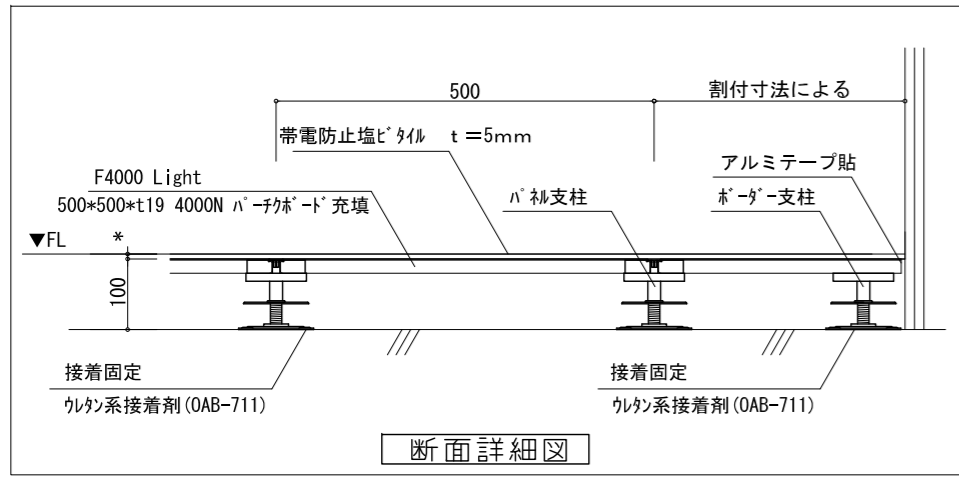
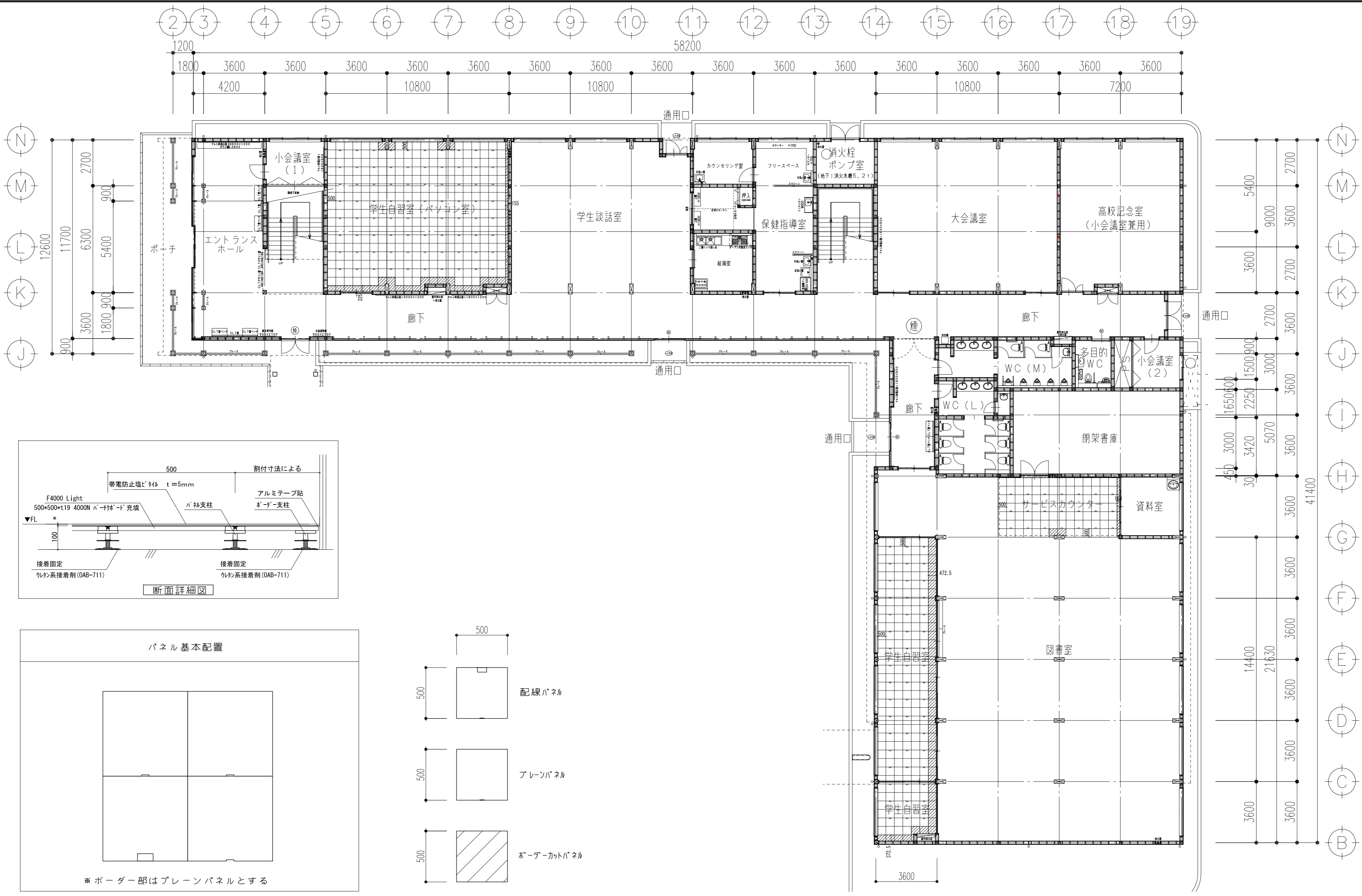
総合建築設計事務所

一級建築士事務所 登録(梨)第1-24366号  
一級建築士 登録 第110879号 小林

承認	設計	担当	縮尺 A2:1/50. A4:1/100
			設計年月日 00.00.00

工事名称	大月短期大学新校舎建設工事
図面名称	講堂 吊物取付 詳細図及び単結図

D-92  
No,



# 図書館家具 特記仕様書

※図書館書架等の家具工事は別途工事とする。

## 【一般事項】

- 施工範囲
  - 図面に記載された家具の製作に関する一切の工事を含み、その製作物を現場搬入し、配置図の位置に整備するものとする。
  - 製作は図面を優先し、図面に特記指示が無い場合に限り全て本仕様書に基づくこと。
- 係員
 

本仕様書にいう係員とは（監督員）及びその委任するものを示す。係員の指示及び承認もしくは検査、立ち会い等はすべて大月市の監理業務の権限と責任によって行われたものとみなす。
- 変更
  - 設計、仕様、工程及び納期等について請負者の判断による変更は無断で行ってはならない。
  - 原寸図、試作の時又は現場との取り、取り合いの関係で軽微な変更を行う場合は、係員の確認を委する。
- 製作及び製作図
  - 家具の製作に当たっては設計図に基づき、施工図を提出し、係員の確認を得た後でなければ製作にかかってはならない。
- 材料
  - 本工事の使用材料の主材は**大月市産ヒノキ集成材等**を使用する。
  - 木材はすべて乾燥材とし、その含水率は指示通りとする。含水率は全断面に対する平均値を標準とする。
  - 図面記入寸法はすべて仕上げ寸法を示すものである。
  - 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するものとする。同等品を使用する場合は、設計者・監理者の承諾を受ける。  
材料はすべて指定の新品とし、施工者がその責任において適当と判断したものを使用する。割付、納まりなど意匠に関係のある材料処理は、着工前に監理者の承認を受ける。
- 検査
  - 配置完了後現場にて係員により現場配置完了検査を行う。
  - 検査：引き渡しを目的とし、必要に応じ取扱い及び手入れ方法等について説明を行う。
  - 検査方法は、図面、仕様書との照合による。
  - 仕上がり寸法許容範囲は、開口・奥行・高さ±3mm以下、書架棚板厚さは1mm以内とする。
  - 完成検査、製品完成時の点検を請負者の責任に於いて行い、その結果と処理を係員に報告し承認を受ける。不合格品は係員の指示により手直し又は取り替えをする。
- 保証
  - 万一不備な点（手直し未完了等）が生じた場合は係員の指示により発注者の承認を受ける。  
検査後であっても、材料の不良、製作の粗悪によるキズ、故障等に対しては、直ちに新規取替え又は補修を行う。
  - 検査後、満一年間製品のメーカー保証をする。
- 搬入及び養生
  - 現場搬入はあらかじめ搬入工程表を係員に提出し、それによって行う。
  - 搬入時及び搬入後に、家具及び建築物を損傷しないように養生を施すと共に、その取扱いには注意すること。
- 地震対策
  - 地震対策に使用する金具は現物を提出し係員の承認を得ること。
  - 地震対策を施工仕様の選別は係員の指示のもとに行うこと、特に中置書架に対しては転倒防止検討計算書を作成し係員の承認を得ること。
  - スチール書架以外の家具に床固定が必要な場合は<図2>と同等かそれ以上の方法で施工すること。また、床固定を行う家具は事前に施工図に図示して係員の承認を得ること。
- 記録
 

製作図、竣工写真を係員の承諾を受けて提出する。部数・書式については係員の指示による。
- 著作権
  - 工業所有権の紛争に関わる事項は請負者がその解決の任に当るものとする。
  - 木製書架増設に対し意匠を同様に出来ること。
- その他
  - 工事着手前に、設計図に基づき納入する製品のリストを提出し、監理者の承認を得ること。また、工事全体の手順を立案し、工事工程表と併せて、施工計画書を作成・提出し、監理者の承認を得ること。工程に変動を生じた場合は、監理者に速やかに事情説明を行い、その指示を受けること。
  - 納入する製品は、下記の「標準」の要件をすべてを満たす図書館家具メーカーによって製造されるものとする。

- 「標準」
- 良質の家具を量産できる体制を保持しているメーカーであること。
  - 環境の保全に配慮したISO14001取得の図書館家具メーカーであること。

## 【木製品】

- 材料
  - 合板類
    - 家具工事に使用する合板はすべて指定材種とし、日本農林規格（JAS）のホルムアルデヒド放散量に関する等級区分の「F☆☆☆☆」を満足すること。
    - 積層合板は長手にジョイントする場合は、スクーフジョイント（斜めつぎ）とし隙間があってはならない。含水率1.2%以下のものとする。
  - 化粧板
 

生地仕上げに用いる合板類の表面に貼付ける化粧板は、白太割、節等の欠点のない木目正しい柾目スライザーを突板（厚さ0.3mm）仕様のものを使用する。
  - 見掛材
 

見掛材は、すべて図面指示及び一般事項（5）材料の項により指定された材種を使用し木理正しく白太割、節等の欠点のない無節材にして、含水率1.2%以下とする。
  - 見隠材
 

見隠材といえども堅木を使用し、腐れ、節、抜けやすい節、よじれ等のあるものは、使用してはならない。含水率1.2%以下のものとする。
  - ロールコア
    - 木製家具のフラッシュ構造にて組まれる天板・側板・中央立は芯材にロールコアを使用する。
    - ロールコアは破損等の無い完全なものを用い、特に枠組みはねじれの生じないよう良材を選定する。図面において指示がない限り、パーティクルボード、ハードボードの使用は認めない。
  - 金物
    - 構造や安全に関わる連結用ボルト、棚受金物、などはあらかじめ見本品を提出し係員の確認を得ること。
    - 展示台の棚受け金具は<図3>に示した仕様と同等かそれ以上とし、棚板が落下しないよう、地震対策として棚板に対して垂直に10mm以上のダボ形状のものが棚板内部に挿入される仕様とする。その棚受け金具は棚受けレールに対して2ヶ所以上のツメで懸架されるものとする。
    - 棚受けレールは、1.5mm厚アルミ金物アルマイト加工とし、可動ピッチ12.5mmの単位で上下に移動可能な金物を使用すること。また、棚板調整時の目安として10ピッチごとに棚柱レール表面にサイズ刻印マーク付きとする。
    - 棚受け金具はステンレス鋼（SUS304）製とする。
  - 接着剤・塗料
 

木工用接着剤及び木工用塗料は目的・用途に応じた、ホルマリン・トルエン・キシレンを含まない環境対応の優れたメーカー製品を用いること。
  - アクリル
 

帯電防止処理加工を施す。見え掛り又は摺れる部分の小口は研磨する。サンプルを提出し係員の確認を得ること。
- 加工
  - 機械加工
 

機械加工は原寸図に従い指示された寸法を厳守し、逆目等が生ぜぬように注意するものとする。

    - 平面加工
 

木取りした部材は手押しカンナ及び自動カンナをもって厚みと平面を加工し、巾を決定後必要に応じてスパーサー・フェーザーで表面を仕上げる
    - 切断加工
 

手押しカンナ及び自動カンナで平面加工が完了したものは、昇降盤で所定の寸法に切断する。
    - 柄、柄穴、小穴、溝、曲面加工は原則として両側付きとして昇降盤等で加工する柄穴は角ノミで所定の寸法の穴をあける。
    - 仕口及び組手加工
 

引出前板と側板の仕口は、ダブテイルマシンにより加工する。一般アラレ組はコーナーロックイングマシンにより、組手加工を行う。留加工は昇降盤、角ノミ、テノールマシン等を適宜使用し加工する。
    - 組手加工は柄組とし、ダボ組は認めない。
  - 接着加工
 

フラッシュ、積層合板の接着に当たっては、圧縮力、圧縮時間に留意し、糊塗、ゴミ等に注意し圧縮力は、1.0kg/cm<sup>2</sup>以上の圧力のものを使用するものとする。
  - 手加工
 

部材の手カンナ掛けはカンナ目、逆目等が生ぜぬように注意する。
  - 塗装
 

木部塗装の仕上げの工程は<表A>による。特記無き木製家具は全てウレタン塗装仕上とする。

<表A>ポリウレタン塗装工程表（エポ塗料）

工程	使用材料	作業
1 素地調整	サンドペーパー・サンダーなど	逆目、鉋痕の無いよう表面を平滑にする
2 着色目止	着色材	へうしてき目止または希目止を反復し目止の無いよう十分注意する
3 目止め研ぎ	サンドペーパー#320	余分な目止材を抜き平滑にする
4 下塗り	ウレタンサンディング	むらの無いよう塗る
5 下研ぎ	サンドペーパー#240	平滑になるよう研ぐ
6 中塗り	ウレタンサンディング	むらの無いよう平滑に塗る
7 中塗り研ぎ	耐水ペーパー#320	平滑になるよう均一に研ぐ
8 上塗り	ウレタンサンディング	中塗りに同じ
9 上塗り研ぎ	耐水ペーパー#600	中塗り研ぎに同じ
10 仕上げ	ウレタンフラット	むらの無いよう平滑に塗る

## 【スチール書架】

- 仕様
 

スチール書架の仕様は単柱式とし、その仕様は下記に示す仕様と同等かそれ以上のものとする。
- 部材仕様
  - 支柱は30mm×50mmの角パイプで板厚2.3mm以上の厚さがあること。
  - 脚は70mm×30mmの角パイプで板厚2.3mm以上の厚さがあり、支柱に厳重溶接とする。
  - 棚板は895mm×210mm×25mmのスチール棚板とする。各棚板の上下可動ピッチは25mmとする。
  - スチール書架のつなぎ材は垂直方向に対して上下つなぎは100mm以上を確保し、板厚1.6mm以上で耐震強度が十分あるものとする。また、接合ボルトなどが表面に出ないようにそれを隠す仕様（化粧カバーなど）である事。
  - 棚板を受ける袖板は、225mm×153mmで板厚1.6mm以上の厚さがあり、三木爪にて支柱に懸架すること。
- 加工
  - 切断加工
 

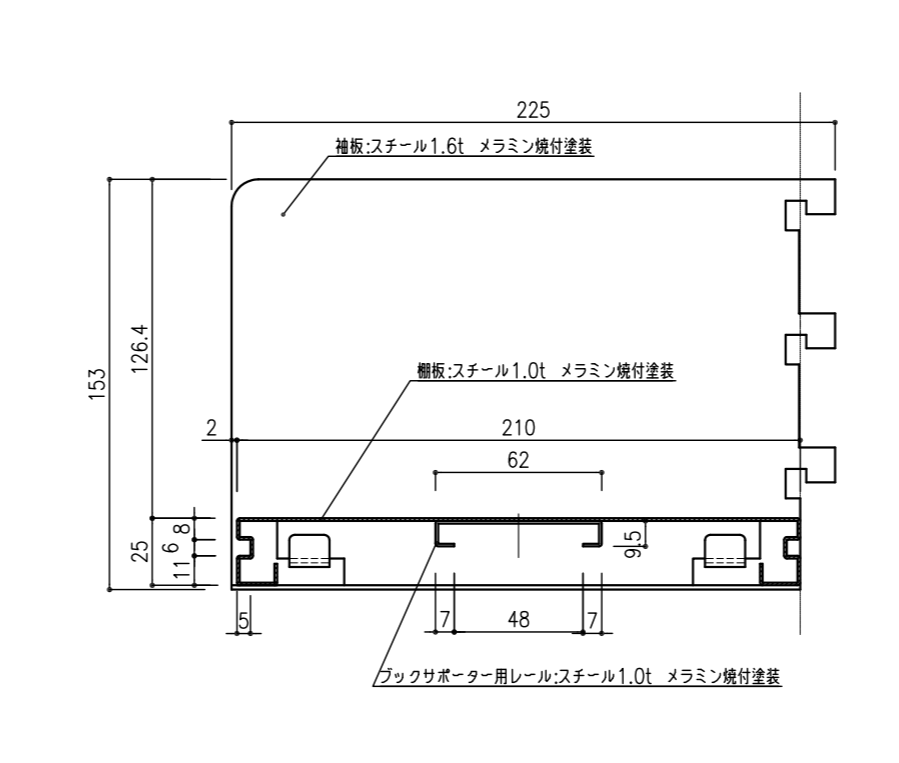
各部材の切断及び孔開けはすべて機械加工とし、構造部材の切断鋼板の圧延方向と軸線を直角にすることを原則とする。特に人体に接する部分については、切断によるバリを残さない加工とし、これらの加工精度は±1mmとする。
  - 曲げ加工
    - 曲げ加工はすべて機械加工とし、ロール加工を含め常温下で行う。
    - 加工精度は、曲げ加工については±1°以内、曲げ寸法については±1mm以内とする。
    - スチール書架棚板は、たわみに対する強度確保の為の木口部折曲げ加工を<図1>に示す仕様と同等かそれ以上の7つ折加工を施すこと。
  - 切断加工
 

車輪等の主要部材はNCマシンによる加工を行い、その加工精度は5/100とする。
  - 溶接加工
 

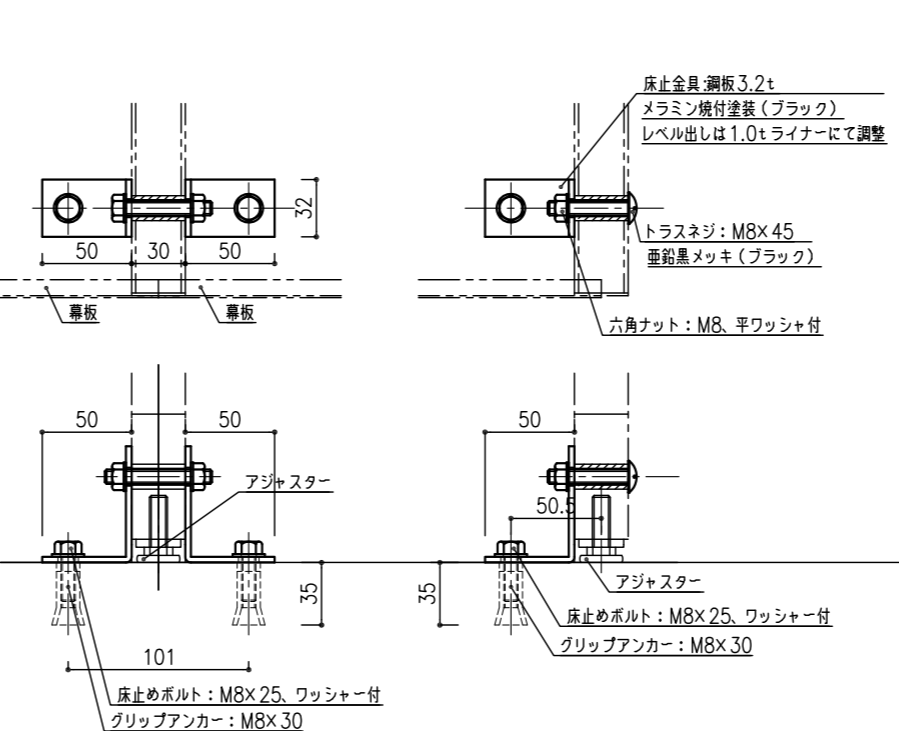
溶接加工は、アーク溶接またはCO2ガス溶接とし、JIS-Z-3801「溶接技術検定における試験方法並びにその判定基準」に規定された有資格者が行う。
  - 塗装
 

主要部材（支柱・棚受け金具）の塗装は全てメラミン焼付塗装とする。

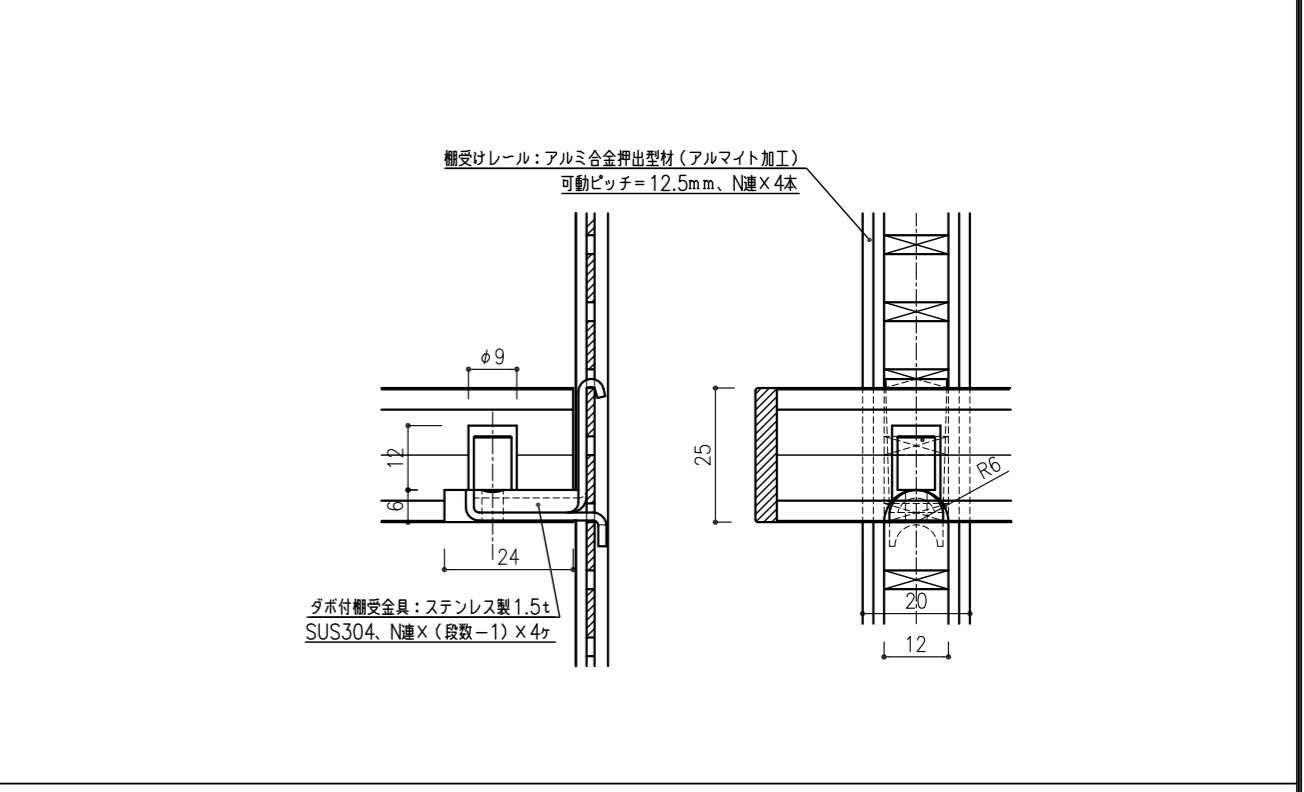
<図1> スチール書架棚板詳細図 S=1/2



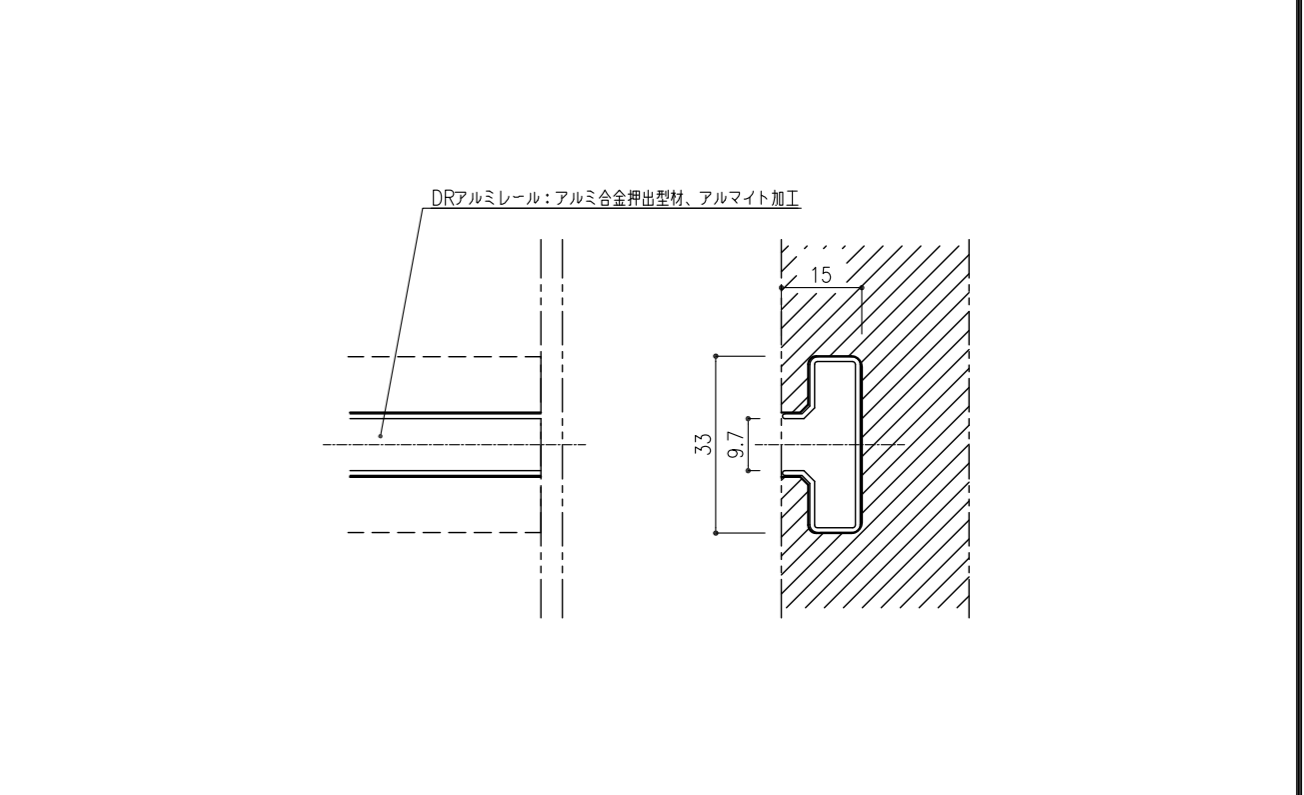
<図2> スチール書架床固定詳細図 S=1/3



## <図3> 4・展示台 可動棚 棚受・棚柱



<図4> 4・展示台 DRアルミレール 共通詳細図



<図5> 17・木製キャレレデスク 側板床固定

